

英國憲法精理

レニ任シ一人ハ政務官ニシテ局長ト共ニ議院ニ列席ス本局ハ一千八百七十一年ニ至ル迄救民局ト稱シ窮民賑濟ノ事項ヲ司ルニ過キサリシカ名稱改革ト共ニ其職權モ從前ニ比スレハ大ニ擴張セル者ノ如シレ現時各地方廳カ地方政務局ノ監督ノ下ニ立テ爲スヘキ事項ハ左ノ如シ

- 一 貧民救濟
 - 二 衛生法ノ進捗下水ノ改良清潔法ノ施行病院ノ設立
 - 三 道路築造及修繕
 - 四 橋梁溝渠棧道ノ築造
 - 五 街路ノ點燈
 - 六 煙焰及其他不淨ノ禁壓
- 地方政務局ハ一般ノ地方各廳ヲ監督スル爲メニ

國

皇

- 一 視察官ヲ任命シ其報告ニヨリテ縱使ヒ多數納稅者ノ希望ニ反スルモ地方局ヲ設立ス
- 二 地方局ノ撰舉ヲ規定シ局員ノ數ヲ定ム
- 三 衛生及貧民救濟ニ關シテ若干ノ官吏ヲ任命ス即チ
 - 一 醫員
 - 二 登記官
 - 三 測量官
 - 四 貧民監督官
- 四 公衆ノ種痘法ヲ規定ス
- 五 貧民工場ノ建築及處理又該屋ニアル兒女ノ教育及病者ノ保護ヲ準備ス

英國憲法精理

本官ハ英國一般ノ郵便電信事務ノ長官ニシテ總テ其屬官ヲ任命シ書簡ノ運送ヲ敏捷ナラシメ若クハ郵便稅ヲ變更スルタメ(其專斷ヲ得ル者ハ)議案ヲ議院ニ提出シ又其名ヲ以テ書簡及荷物ノ運送ニ關シ運送者ト一切ノ契約ヲナス

第十八節 樞密院副議長

本官ノ職ハ樞密院議長ノ職ニ異ナラス議長ハ常ニ上院議員ナルヲ以テ副議長ハ下院ニ於テ樞密院殊ニ教育部ヲ代表ス

第十九節 爾餘行政諸官署

以上叙述シタル者ノ外尙ホ英國政府中多少重要ノ位置ヲ占ムル者ヲ左ニ臚列セントス

文官委員局

文官委員局ハ

一 委員長(年俸千五百磅)

二 副長(年俸千二百磅)

ヨリ成ル其職ハ文官候補者ヲ試験シ其能否ヲ接シテ政府ノ各官職ニ推薦スルニアリ但シ政府ノ各官職カ委員ノ方法ヲ採用スルト否ラサルトハ其任意ニシテ或ハ學力ノ優劣ニ依テ撰任スルアリ或ハ一應試驗ヲ經タル者ハ其採否ハ全ク長官ノ意見ニ任スルアリ

慈惠委員局

慈惠委員事務局ハ

名譽委員一人

委員長一人(年俸千五百磅)

委員二人各(年俸千二百磅)

ヨリ成リ其事務ハ

皇國

一 通例人民ノ私金ヲ抛テ設立シ永久持續ノ資力アル慈惠院々務ヲ監督シ時ニ或ハ更ニ之ヲ改革スルコト

二 慈惠保管人ニ貧民寄宿所病院學校等ノ營造物ニ屬スル土地ノ賣買貸借ヲナシ及通常慈惠資金ヲ處分スルノ權ヲ與フルコト

癡狂委員局

本局ハ一千五百磅ノ年俸ヲ受クル六名ノ委員ヨリ成ル其事務ハ

一 狂者幽閉ノタメニ用非ル一切ノ建物ヲ監督點檢スルコト

二 狂者ヲ保護シ不當ノ監禁及虐待ヲ防グコト

三 適當ノ地ニ癡狂院ヲ建設スルコト

法教局及寺院財產委員局

法教局ハ現今大僧正僧正及若干ノ内閣員判事牧師并ニ著名ノ俗人ヲ以テ組織ス

寺院財產局ハ有給委員二名(年俸一名一千二百磅一名一千磅)及名譽委員一名ヨリナル

以上三局ノ目的ハ共ニ寺院ノ資金及其他國會ノ條例若クハ其他ノ方法ニヨリ寺院財產ノ賣却及委託ヨリ起ル財產ニ關シ責任ヲ負ヘル常置集合体ヲ保存スルニアリ而シテ委員ハ特ニ法律規則ニ依遵シ宗教上ノ事務ヲ執行スルタメ寺院財產ヲ處分スルノ權ヲ有ス例之ハ貧民產業ノ増進僧正ノ新置等ナリ

造幣局

造幣局ハ貨幣鑄造ヲ目的トシ財務長官ノ監督ニ屬ス

國債局

國債局ハ國債ノ償却ヲ掌ル者ニテ英國ノ國債ハ頗ル巨額ニ上ホリ總計殆ト七億六千萬磅ニ下ラス毎年支拂ノ利息凡ソ五千六百萬磅アリ

有事ノ日ニ當リ一時ノ急ヲ濟ハシ爲メ貨幣ヲ借入レタル者ニシテ其中漸々償却スル者尠シトセス

英 國 憲 法 精 理

一國ノ戰爭ニ從事スルニ方リ其目的ニ必要ナル軍費ヲ得ル方法二種アリ第一法ハ増税ニシテ直チニ其年間ニ徵收スルモノナリ第二法ハ公債ヲナスニアリ抑公債ヲ募集スルハ政府ノ名譽ト信用トニ據テ約定期限内ニ元金ヲ償却シ且ツ償却ニ至ルマテ相違ナク規定ノ利息ヲ支拂フコトヲ約シ而シテ其利息ハ累年租税ヨリ徵收スルモノニシテ往々租税ノ大部ヲ占ムル者アリ英國ノ如キ則チ其一例ナリ然ルニ公債償却ノ年限ハ十數年若クハ數十年ニ涉ルヲ以テ其利息ヲ支拂ヒ元金ヲ償却スルノ責任ハ一時代ヨリ後世子孫ニ繼續シ政府ハ自ラ正當ニシテ必要ナル(若クハ然リト認メタル)戰爭ヲナサンカタク此方法ニヨリ後世子孫ニ課税スルヲ得ヘシト思惟スルヲ以テ其子孫ハ德義上

國

皇

前時代ニ於テ約束セル國債ヲ承認セサルヘカラス
一時代ノ政府ガ其前代ヨリ繼續セル國債ヲ償還センカタク特別ノ盡力ヲナスヘキヤ否ヤハ恒ニ疑問ノ點ニシテ之ヲ定ムルハ舊來ノ公債、
ヲ償却スルタメニ現時金錢ノ借入ヲナシ得ル條件ノ難易或ハ増税スヘキモノ、種類若クハ舊債償還ニ都合能キ時期ノ直ニ到ル時期スヘシト否ラサルトニ依ラスンハアラス國債利子ハ通常三分前後ニシテ一國ノ安寧ニ影響スヘキ事情アル時或ハ政府新ニ國債ヲ要スル情況アリ隨テ現在國債ノ債主タルモノハ概シテ舊公債ヲ賣リ新公債ノ利益多キモノヲ買ハシトスル時ハ公債ノ價格下落シ事情ノ之ニ反スル時ハ價格ノ騰貴ヲ致ス三分若クハ三分五厘利付公債額面百磅ノ價格ハ現今概シテ八十九磅ヨリ九十三磅ノ間ニアリ抑公債ハ一千六百八十九年うゐりわむ三世即位ノ時ニ方リ僅ニ五十萬磅ニ過キサリシモ

其治世ノ終ニハ一千五百磅萬ノ多キヲナシ一千七百七十五年米國戰
 争ノ起レルニヨリ一萬二千萬磅以上ニ及ヒ尋テ一千七百九十三年佛
 國戰爭ノタメニ六億萬磅ヲ超ユルニ至レリ
 近時公債償還ニ用非ラル、一法アリ其法タル國債ノ一部ヲ變シテ之
 ヲ詳言セハ賣却セシメ若干年間又ハ若干生存年間ノ年金トナスモノ
 ニシテ該年金ノ繼續間ハ利子ノ増加ヲ見ルモ年金ノ消滅ト共ニ該公
 債ハ消滅ニ屬スルモノナリ

專賣特許局

專賣權トハ有益ナル發明ノ結果ヲ製造販賣スル權利ニシテ他人ハ得
 テ之ヲ製造販賣スル能ハス之ヲ特許スルハ若干ノ年限内ヲ以テス而
 シテ其發明タル新奇ニシ且ツ必要ナル者ニ限り政府ノ保管スル文書
 ニ登記シ以テ其利益ヲ一定ノ期限内ニ於テ專占セシム

特許局ハ皇帝ノ法律官即チ責任ヲ有スル法律顧問官ノ監督ノ下ニ在
 ル者トス

文書局

本局ハ一切政府ノ公事ニ關スル文書ヲ保管スルモノニシテ古代ヨリ
 傳レル文書ノ數ハ甚タ夥多シク現今ハ之ヲふゑつたーれーんノ廣大
 ナル建物ノ中ニ保存ス若干ノ書記官(男若クハ女子)ハ本局ニ附属シ文
 書ノ目錄ヲ作り以テ其一部ヲ見ントスル者ノ便ニ供スル等各般ノ事
 勢ヲ執ル

共濟會登記局

國會ノ條例ニヨリ疾病老衰死亡等意外ノ費用ヲ共濟センカタメ協同
 セル人々ハ若干ノ規定ヲ奉シテ登記ヲ得已ニ登記ヲ經タル共濟會ハ
 無形法人ト見做シ法律ニ依テ運動シ財産ヲ所有スルヲ得コノ登記ヲ

ナスノ旨趣ハ愚民ヲ欺瞞シ不正ノ利益ヲ獲ン爲ニ結合スル會社ヲ禁
歴シ良民ヲ保護スルニアリ蓋シ會社設立ノ要旨ハ各會員ヨリ每週每
月若クハ毎年若干金ヲ拂込ミ疾病ニ罹リ或ハ老衰ニヨリ職業ヲ營ム
能ハサル時ニ遺族ニ若干金ヲ贈與スルニアリ

山林委員

山林委員ハ皇室即チ政府ニ屬スル山林事務ヲ司ルモノニシテ其職務
ハ臨機看守人及ヒ傭役人ヲ任命シ公衆ノ山林ヲ使用スル規則ヲ定ム
ルニアリ又皇務室山林ノ一部タル山林ヲ賣却シ或ハ土地ヲ賣却交易
購得スルノ事務ヲ執行ス

關稅內國稅及掛

關稅及內國稅掛ハ共ニ政府ノ歲入ニ關係スル官衙ニシテ關稅ハ國庫
歲入ノ大部ヲ占メ外國輸入品即チ酒精、茶、煙草、葡萄酒其他內國ニ輸入

スルニ際シテ課稅スル外國物産ヨリ生スルモノナリ

內國稅ハ右ノ外一切ノ稅源ヨリ生スル歲入ニシテ例之ハ所得稅、物品
稅(內國產酒精、麥芽等內國品ノ課稅及ヒ印紙稅是ナリ印紙稅トハ(一)前
所有者ノ死亡ニヨリ土地ノ相續(二)遺言ニヨリ金錢ノ受領(三)取引契約
ヲナス等或ル取引若クハ事件ニ際シ政府ニ納ムルモノナリ

教育、枝藝及科學掛

本官ハ(一)若干ノ場合ニ於テ學校ニ特許ヲ與ヘ又南ヶんーんとん博物
館ヲ管理ス該館ハ學藝ノ標本ヲ有シ又政府ノ監督ヲ受ケ學藝ノ公開
演說ヲ開クト所ナリトス

第六章 司法制度

第一款 司法權

國家已ニ法律ヲ制定シ又之レヲ執行スル以上ハ之レヲ守ル者ヲ保護
 シ之レニ背ク者ヲ罰スルノ必要自ラ生セサルヲ得ス法律已ニ人民ニ
 與フルニ權利ヲ以テシ之レニ蒙ラスニ義務ヲ以テスル以上ハ權利者
 ナ保全シ義務者ヲ強迫スルノ制裁ナキ能ハス制裁ナキノ法律ハ真正
 ノ法律ニアラス徒法ノミ虛文ノミ若シ政府ハ此制裁ヲ與フルノ方法
 ナ備ヘズ各人皆自ラ其權利ノ保護者タリ執行者タラシメハ國家ノ組
 織遂ニ一日モ保維スヘカラス古語ニ云ク人間社會ハ寧ロ法律ナキモ
 存スルヲ得ヘシ法官ナクハ一日モ立ツ能ハサルナリト是故ニ司法
 ノ權力ヲ掌握シ訴訟ヲ審定シ犯罪ヲ處斷スル法官ノ國家ニ緊切缺ク
 ヘカラサル固ヨリ辨ヲ待タス

皇

國

(七九三)

抑法權ハ法律ヲ解釋スルノ權力ナリ則チ法官ハ一個ノ事件ニ付キ疑義ヲ生スルニ當テ其事果シテ法律ニ含有サル、ヤ否ヤヲ言明スル者トス故ニ一せろノ曰ク判事ハ解語ノ法律ナリ法律ハ不言ノ判事ナリト然ラハ此法律解釋ノ大權ハ何人ニ屬スヘキヤ是レ至難ノ問題ニシテ英國憲法ハ之レヲ國皇ニ歸セリ故ニ全國各種ノ法廷ニハ國皇臨御シテ裁判ヲナス者ト擬定セリ、ぶらぎすとん曰ク國皇ハ正義ノ泉源治安ノ保長ニシテ全國司法ノ全權ハ之レヲ國皇ニ委任スト雖臣國皇親シク此重要廣大ノ委任ヲ果スヲ得ス是ヲ以テ國皇ハ裁判所ヲ建設シテ此權力ヲ實行スルノ機關トス已ニ裁判所ヲ以テ國皇ノ機關トセハ之レヲ建設スル素ヨリ其權利ニ屬セリ故ニ各裁判所ノ法權ハ直接間接ニ國皇ノ附與スル所ニシテ其裁判ヲ行フハ概チ國皇ノ名義ヲ以テシ國皇ノ印璽ヲ用非國皇ノ官吏之レヲ執行スト然レ臣是レ誠ニ憲法

上ノ遺制ニ過キス國皇ハ決シテ普通法ノ規定ニ反シ議院ノ承諾ヲ經スシテ濫リニ裁判所ヲ建設シ新ニ法庭ヲ開クノ權アルニアラスだむせ、此言ヲ評シテ云ク無智ノ小兒ノ外誰カ又女皇親シクラすとんすた(高等裁判所ノ所在地)ニ臨御アルヲ信センヤ又誰カ女皇親ヲ臣民ノ訴ヲ聽クヲ想像セ、ヤラくとりハ女皇ハ所謂陛下ノ裁判所ニ於テ親ヲ裁判ヲ聽ク者ナリトノ想像ニ比スレハ多少學識アル英人カ英國女皇ハ曾テ政事ニ干カラス唯英國ニ君臨スルノミト思惟スル方反テ誤見ノ度少シト謂ハサルヘカラスト蓋シ國皇ヲ以テ正義ノ源泉トナスト雖臣直チニ國皇ヲ以テ法律ノ作者、法律ノ本源ナリト謂フニアラス唯之レヲ以テ法律ノ公行者トナスノミ抑天下ノ正義ハ國皇ノ制作シ國皇ノ臣民ニ賜與スル者ニアラス唯臣民ノタメニ之レヲ保管スルノ任ヲ有スルニ過キス而シテ今日國皇ニ代テ正義ノ保全ニ任

スル者ハ裁判官ナリ
 各裁判所判事ノ任命ハ國皇ノ特權ニシテ大臣概テ之レテ推薦ス就中
 高等裁判所判事ハ長ク狀師トシテ法庭ニ出テ特ニ聲望アル者ヨリ撰
 擇スルヲ法トス偶々此等撰任中ニハ下院ニ於テ當時ノ内閣ヲ幫助シ
 タル政治上ノ報酬トシテ之レニ其職ヲ授クル者ナキニアラスト雖
 無能無識ノ者ヲ登用スルノ例ハ曾テナキ所ニシテ必ス其位地ニ適ス
 ル人才ヲ撰ヘリ
 判事ハ終身官ニシテ在職中廢瀆ノ俸給ヲ受ケ國皇ト雖
 濫リニ之ヲ
 免黜スルノ權ナク又其崩去ニ逢フモ退職ノ責ヲ有セス唯自ラ罪ヲ犯
 シテ法律ニ觸レ或ハ上下兩院決議ノ上國皇ニ諫奏スルキノ外其職ヲ
 免スルトナシ例ハ賄賂ヲ受ケテ偏頗ノ判決ヲ下シ愛憎ニ依テ法
 律ノ明文ニ反スル宣告ヲ與フルカ如キハ其官ヲ剝奪スルト勿論ナレ

此ノ如キ實事ハ近年絶ヘテ觀サル所ニテ實ニ英國法庭ノ純潔ハ遠
 ク諸國ノ企及ハサル者ト謂フヘシ蓋シ裁判官ハ自己ノ失行ニ基クニ
 アラサレハ免黜ノ憂ナキ一事ハ長官ノ威嚴ニ屈セス政府ノ願使ヲ甘
 ンセサル獨立不羈ノ精神ヲ養成スル所以ニシテ判事ハ其名義ヲ以テ
 裁判ヲ行フ國皇ノ指揮ヲ受ケス又國皇崩去スレハ繼テ王位ニ即キ
 自ラ其恩命ノ下ニ職ヲ奉スヘキ皇太子ノ權威ヲモ憚ラサルナリ固ヨ
 リ判事ト雖
 政府ノ眷顧ヲ得國皇ノ優遇ヲ蒙ルヲ欲セザルニアラサ
 ルヘキモ其判決ハ官命ヲ以テ刊行スル法律報告書ニ登載スルヲ以テ
 上等裁判所荷モ其過失ヲ發見セハ忽チ之レカ覆審ヲナスヲ怠ラス一
 タヒ私曲ノ行アレハ忽チ公衆ノ耳目ニ觸レ長ク其位地ヲ保ツヲ得サ
 ルヘシ是故ニ英國臣民ハ事ノ皇室政府ニ係ル者ニテモ之レテ裁判所
 ニ訴ヘ之レテ法官ノ判決ニ委テ毫モ慮ル所ナシ況ンヤ法官ノ獨立

ニ加フルニ陪審制度ノ在ルアリ決シテ是非ヲ顛倒シ曲直ヲ轉置スル
カ如キノ弊アラサルナリ

法律ヲ解釋シ法律ヲ適用スルハ法官ノ職權ニシテ司法ノ權ハ立法行
政ニ權ノ蹂躪ヲ許サス苟モ司法官以外ノ者ニシテ裁判事務ヲ行フ者
アラハ是レ法律ノ獨立ヲ蔑如シ人民ノ自由ヲ侵凌スル者ナリ又裁判
所以外ニシテ裁判權ニ屬スル者ヲ處斷スルアラハ是レ法律ノ獨立ヲ
蔑如シ人民ノ自由ヲ侵凌スル者ナリ今夫レ内閣大臣ハ政府ノ高官ニ
シテ全國ノ政柄ヲ執ル者ナリ然レモ内閣大臣ハ陋巷ノ小民ヲ捕ヘ假
令ヒ其國家ニ對シテ犯行スルヲ名トスルモ之ヲ罰スルノ權ナシ但此
原則ニ關シテ一ノ例外アリ然ルニ此例外ハ適司法權ノ獨立ヲ明カニ
スルニ足ル者ト謂フヘシ今夫レ議院ノ條例ヲ以テ租稅ヲ賦課スル場
合ニ於テ内國歲入委員ハ自ラ稅則ニ違反セリト信スル者ニハ其罪ヲ

自首スルキハ罰金ヲ輕減スルノ權アリ然レモ委員ハ決シテ其罰金上
納ヲ強ユルノ權ナク若シ犯則者委員ノ勸告ニ從テ自首セサレハ國皇
ハ之レヲ法庭ニ訴ヘテ罰金ヲ賦課スルノ外道ナキナリ此事件ニ於テ
被害者ハ國皇ニシテ犯則ノタメニ損害ヲ蒙レルハ國家ナレモ國皇ハ
其罪人ヲ捕ヘテ處分スルヲ得ス必テス之レヲ法庭ニ訴ヘ司法官タル
判事ノ審理ニ任セサルヘカラス是レ則チ英國憲法ノ特質タル法律ノ
前ニ貴賤ナキ所以ナリ
凡ソ國中ノ裁判所ヲ二大別シテ高等法衙及下等法衙ノ二種トシ或ハ
之レヲ稱シテ記錄裁判所又ハ無記錄裁判所ト云フ則チ高等法衙ハ裁
判々決ヲ記錄登載シ下等法衙ハ然ラス是レ其區別ヲ存スル所以ナリ

第二款 高等法衙

第一節 上院

上院ハ合衆王國最終審ノ法衙ニシテ諸裁判所ノ裁決ヲ覆審シ終結ノ判決ヲナス者トス一タヒ上院ノ判決アリタルハ最早孰レノ裁判所ニモ之レヲ控訴スルノ道ナシ上院ハ終審法衙ナルカ故ニ何等ノ事件ト雖モ始審ノ判決ヲナス者ニアラス上院議員ノ撰任ニ關スル訴訟ノ如キモ上院自ラ其始審法衙タルヲ得ス

上院ノ司法權ヲ有スルハ歴史上ノ變遷ヨリ起リタル者ニテ其特ニ全國最終ノ控訴裁判所タル權利ヲ專有セルハ第十五世紀ノ初ニ在リ爾來此職權ヲ執行スル手續ハ數次ノ沿革ヲ閱セリ就中最近法律ノ上院司法組織ニ關スル者ヲ一千八百七十六年控訴裁判所條例トス依テ左ニ該條例中特ニ重要ナル條款ヲ列叙シテ上院ノ裁判權及裁判組織ヲ

示スヘシ

上院ハ英國ニ於ケル女皇陛下ノ控訴裁判所ノ判決及命令ニ對スル上告ヲ受理シ普通法及成文法ニ關シテ蘇格蘭及愛爾蘭諸裁判所ニ關スル裁判不當ノ上告ヲ受理ス凡ソ此等ノ上告ハ請願ノ手續ニ依リ上告事件ノ判決及命令ヲ女皇陛下ノ議院法衙ニ於テ女皇陛下ノ御前ニ於テ覆審シ議院法衙ハ合衆王國ノ法律及慣習ニ依遵シテ至當ノ判斷ヲ下サントテ嘆願スル者トス

上院ニ於テ最終控訴裁判所ヲ開キ上告事件ヲ審理スルニハ上告議員ト稱スル三人以上ノ議員之レニ臨席セサルヘカラス則チ

第一 大法官

第二 尋常上告議員

第三 現在又ハ從前司法官タリシ議員

尋常上告議員ハ上院ニ於ケル上告事件ヲ審理判決スルタメニ陛下ノ勅書ヲ以テ堪能ノ者二人ヲ特撰ス此上告議員ハ撰任ノ時ニ當テ二年以上高等司法判事ヲ奉職シ又ハ十五年以上英愛兩國ニテ狀師ヲ職トシ又ハ蘇國ニ於テ代言人タル者ニ限リ品行修正中ハ其任ヲ有テ國皇ノ崩御ニ依テ其官ヲ去ラス唯上下兩院ノ執奏ニ依リ之レヲ免黜スルコトアリ其年俸六千磅ナリ

上告議員就職前ニ於テ上院議員タルノ資格ヲ有セサルキハ本官ニ任スル日ヨリ男爵ニ叙シ在職中ハ上院議員トシテ召集狀ヲ受ケ上院ニ列シ其議事ニ參ル但其爵位ハ子孫之レヲ相續スルヲ得ス

司法事務ノ延滞ヲ防クタメニ議院休會中ト雖上告議員ハ議院開會中ニ議決シタル命令ニ準據シテ引續法廷ヲ開キ上告事件ヲ審理シ議院開會中ニ執行セル者ト等シク其判決命令ノ効力ヲ有ス又議院解散

ニ逢フキハ次期ノ議院ニ至ルマテ國皇手署ノ勅書ニ依リ上告議員ニ特命ヲ下タシ上院ニ臨ミ上院ノ名義ヲ以テ控訴事件ヲ審理判決セシム

第二節 樞密院

樞密院ハ宗教ニ關スル控訴裁判所ニシテ又英領及海外屬地ノ上告ヲ受理シ樞密院司法委員之レヲ審理ス

司法委員ハ

第一 司法委員長則チ大法官

第二 うゐるゐりあむ四世三年及四年第四十章ノ條例ニ規定セル年限中判事タリシ樞密院顧問官

第三 うゐくどりあむ女皇三十四年及三十五年第九十一章ノ條例ヲ以テ女皇ノ任命セル四人ノ司法委員則チ上等裁判所判事又ハ海外屬地

ノ裁判長若クハ曾テ此等ノ職ヲ奉セシ者ヲ特撰シテ樞密院顧問官トナセル者

第三節 上等裁判所

上等裁判所ノ構成及職權ハ一千八百七十三年及一千八百七十五年ノ上等裁判所條例ヲ以テ一大改革ヲナシ從來普通法ニ關セル上等裁判所所くゐんすべんちるカカ一こんもんぶり三す裁判所衡平法裁判所、海事及遺囑離婚裁判所ノ管轄セル裁判事件ヲ受繼キ其裁判官ハ大法官、英國判事長、記録長、カ一カ裁判長各副大法官、遺囑裁判所判事、婚姻離婚裁判所判事各員、外判事及海事裁判所判事トス

上等裁判所ヲ分テ五部トス曰クちやんせり一部くゐんすべんちるカカ一カ部遺囑離婚部及海事部是レナリ蓋シ本條例執行以前ニハ普通法裁判所ト衡平法裁判所トハ殆ント獨立シテ各固有ノ法權ヲ有

國

皇

シ衡平法裁判所ハ特ニ衡平法ニ關スル事件ヲ管轄スルヲ主トシ其組織權限ニ至テモ普通法裁判所ト異リ衡平法庭ノ管轄スル事件ハ概テ複雜困難ニシテ專ラ形式主義ヲ固守セル普通法裁判所ニテハ十分ニ其實情ヲ明カニシ相當ノ救濟ヲ與フルヲ得サル者ノミヲ受理シ其曲直ヲ判斷スルノ權力ヲ有セリ抑普通法ハ純然習慣ニ依テ成レル法律ナレハ時勢ノ變遷ニ應シテ宜シキヲ制スル活機ニ乏シク時勢人情ニ背反スルノ判決ヲ與フルコト少ナカラサルヲ以テ此等法律ノ不備ニ依テ損害ヲ蒙レル者ハ直チニ國皇ニ哀訴シ冤枉ヲ雪メ利益ヲ保護セントス然ルニ大法官ハ國皇ノ顧問官タルカ故ニ是等ノ訴ヲ聽キ寬猛宜シキニ應シテ判決ヲ與ヘ以テ法律ノ及ハサルヲ助ケリ此ノ如ク大法官ノ下タセル判決終ニ先例ヲナシ一種ノ法律ヲ造リタル者之レヲ總稱シテ衡平法ト名ケ以テ普通法則チ習慣法ト分テリ

普通法裁判所ハ其内ニくゐんすべんちをすちか、及こんもんぶり、すノ三裁判所アリ其發生ノ起原各一ナラス名稱ノ異ル如ク其管轄事件モ各固有ノ者アレハ三裁判所同一ノ法權ヲ有シ相通シテ孰レノ事件ヲモ受理裁判スルヲ得タリ

其他海事裁判所ハ英國商船ニ關スル一切ノ事件及海上捕獲物ノ處分ヲ司リ遺囑裁判所及離婚及婚姻裁判所ハ遺囑裁判長合セテ之レニ長トシ凡テ獨立ノ裁判所タリ

一千八百七十三年ノ上等裁判所條例ヲ以テ此等諸裁判所ヲ合併シテ一裁判所トナセシモ尙ホ其舊ニ依テ之レヲ五部ニ分テリ然レハ各部專屬ノ管轄アルニアラス是レヨリ普通法及衡平法ノ區別ヲ全廢シ事件ノ何タルヲ問ハス該條例執行以前ニ於テ管轄ヲ受ケタル裁判所ノ如何ニ拘ハラヌ一切之レヲ新置裁判所各部各判事ノ管轄ニ從ハシメ

各判事ハ其事件ノ何タルヲ問ハス之レニ對シテ從前各裁判所ノ與ヘタル賠償救濟ヲ與フルヲ得訴訟人ハ自由ニ其裁判所ヲ選擇スルヲ許セリ

此ノ如ク表面上ノ改革アルニ拘ラス裁判事件ノ分配ハ概テ舊制ニ依リ衡平法部ハ遺產處分組合質物物品差留義務履行信託後見等ニ係ル事件ヲ管轄シ其他普通法各部及海事遺囑離婚裁判所モ各固有ノ管轄ヲ有セリ但シ法律上訴訟人孰レノ部ニ訴フルモ可ナリ故ニ實際新制度ノ結果ハ衡平法普通法ノ區別ヲ廢シ何レノ裁判所ヲ問ハス訴訟手續ヲ極メテ簡便トナシ各部通シテ同一ノ制ヲ用ユルニ在リ

第四節 控訴裁判所

控訴裁判所ハ一千八百七十三年及千八百七十五年ノ司法條例ヲ以テ其構成ヲ一變シ大法官英國判事長記錄長遺囑離婚及海事部判事長ノ

外、五名以下ノ時々國皇ノ撰任スル控訴判事ヲ以テ組織シ上等裁判所
 若クハ上等裁判所判事ノ命令又ハ判決ニ對スル控訴若クハ下等裁判
 所ノ控訴ヲ審理ス此他ニ員外判事アリ其數四名ニ出テス本條例施行
 以前ニハくゐんすべんちこんもんぶりす及きゑすちかー三裁判所
 ノ内其二個ノ裁判所判事ハ相合シテ他ノ第三裁判所ノ判決ニ對ス
 ル控訴ヲ受理審判シ之レヲ稱シテこーど、おふゑきすちかーちやんバ
 ート云ヘリ

第五節 高等刑事裁判所

第一 刑事控訴裁判所ハ高等裁判所普通法各部ノ判事皆之ニ列席ス
 ルモノニシテ特ニ開期若クハ四期會議裁判所判事ノ判決セサル法律
 上ノ争點ニ付被告ノ爲ニ控訴ヲ裁判シ問題ノ最終判決ニ至レ迄下等
 裁判所ノ判決ヲ延引シ或ハ其裁判ノ執行ヲ猶豫ス而シテ問題ノ單ニ

事實上ノ争論ニ止リ若クハ陪審官ノ斷按ニ對スル不満足ニ付キテハ
 控訴ヲ受理セス

第二 中央刑事裁判所ハ毎月一回龍動ニ開廷シ龍動みつとるせつす
 及近傍諸洲ノ犯罪ハ總テ之ヲ審判ス又龍動ヨリ遠隔ノ地ニ於ケル犯
 罪ト雖モ地方ノ人心激興シ其近隣ニ審問ヲ行フ能ハサル正當ノ理由
 アル時ハ之ヲ該裁判所ノ審理ニ付スルヲ得ルノ規則アリ高等裁判所
 普通法諸局ノ判事ハ皆中央刑事裁判所ノ判事ニシテ順次ニ迭々着席
 スル者ナリ此他尙ホ儀式上該裁判所判事タル者若干アリ其内壹人皆
 グハ數人常ニ主任判事ト共ニ列席シりこーだー、おふゑんどん及ヒ普
 通警視官ノ如キ亦中央刑事裁判所ノ他ノ部局ニ出席スルコトアリ例之
 ハ大法官府知事及龍動府ノ長老ノ如キ是レナリ

第六節 開期裁判所

巡回若クハ開期裁判所ハ時々勅命ニ依テ開廷スル者ニシテ英國司法制度中最モ舊慣ヲ存スル者ナリ毎年二次若クハ三次即チ大抵二月月(及ヒ若シ得ヘクンハ)十二月上等裁判所普通法諸局ノ裁判官二人若干員ノ狀師ヲ率非悉ク各縣内ノ巡回區ト稱スル主要ノ市街ヲ巡回ス此目的ニヨリ英倫及威爾斯ヲ八箇ノ巡回區ニ分テリ抑判事カ其法廷ヲ保持スル所以ハ皇帝ヨリ五ヶ條ノ委任ヲ受ケタルカタメナリ此委任ニ依テ巡回裁判官ハ陪審官カ判事ノ命ニ從ヒ斷案ヲ下セル爭點タル事實ニ基ケル民事訴訟ヲ審理セシカタメ民事裁判所ヲ開キ又治安判事ノ有スル普通ノ職權ヲ得兼テ刑事裁判所トシテ(一)カーヤ、(二)エンど、(三)ミナー、(四)ノ權(のるまん)ノ言語ニシテ聽訟審斷ノ義ナリ(二)普通監獄釋放ノ權ヲ有シ此二權ハ相合シテ裁判官ヲシテ其巡回市街ニ到着スル時監獄ニアル囚徒ハ如何ナル罪人タルヲ問ハス之レヲ點檢シ

或ハ之ヲ處罰シ或ハ之ヲ解放スルヲ得セシムル者ナリ隨行ノ法律家ハ判事ト俱ニ委任書中ニ明記シ開期裁判所ノ事務ヲ全フシ或ハ所謂囚藉檢査ヲナスニ必要アル時ハ判事ヲ補佐セシムルト尠カラズ

第二款 下等法衙

第一節 郡裁判所

本節ニ於テ郡裁判所ヲ説クニ先タチ各種下等裁判所ヲ列記シ其民刑ノ管轄ヲ示サントス

民事

一 郡裁判所

二 四期裁判會

刑事

一 四期裁判會

二 小裁判會

三 警視裁判所

全國ニ郡裁判所ノ巡回區五十九アリ各巡回區ニ附属スル一乃至十六

ノ裁判所アリ而シテ巡回區ノ排置ハ大市街ニ必ス一郡裁判所ヲ置キ如何ニ狭小ナル地方ト雖モ遠ク裁判所ヲ懸隔スルコトナカシム全國ヲ通シテ裁判所ノ所在地ハ五百二十一ヶ所ニシテ通常毎月一回開廷シ一巡回區ニ一人ノ判事之ニ附属シ若干磅以下ノ民事ノ訴訟ハ悉ク之レヲ審理ス蓋シ此裁判所當初ノ目的ハ重ニ商買カ僅少ノ負債辨償ヲ請求スル用ニ供スルニアリシモ漸時其管轄ヲ擴張シ古來普通法及衡平法高等裁判所及海事高等裁判所ノ管轄ニ屬セシ者ニシテ今ヤ實際ニ郡裁判所ノ裁判ヲ受ケサルモノ僅々ニ過キス本裁判所ノ訴訟手續ハ概テ簡單ニシテ且ツ其費用ヲ要スル高等裁判所ノ比ニアラス

第二節 四期裁判會

此裁判所ハ民事并ニ刑事ノ下等裁判所ヲ兼ヌル者ニシテ毎年四回以上各郡首邑ニ開廷シ郡ノ執法官即チ治安判事之レカ判事タリ治安判

事ハ該郡ニ居住シ一年百磅以上ノ價格アル土地ヲ所有スル者ノ中ヨリ中央政府之レヲ撰任ス其方法ハ郡總督其任ニ適セリト認ムルモノヲ指名シ大法官國皇ノ名ヲ藉リテ之レヲ叙任スル者トス

治安判事ハ二種ノ裁判所即チ四期會議及ヒ小會議ニ列席スル者ニシテ四期會議ニ於テハ二人ノ判事之レニ出席スルヲ以テ足レリトナセ凡通常之レヨリ多數ノ列席アリ郡ノ治安判事ハ皆裁判會ニ列席シ訴訟審理ニ干與スルノ權ヲ有ス又其中ヨリ常置議長ヲ撰ミ裁判長トナシ事務ヲ主宰セシム此裁判所ノ管轄スル事務ハ半ハ行政ニ屬スル者ニシテ半ハ司法ニ屬スルモノナリ

四期會議ノ司法事務ハ民事ト別事ナリ其民事ニ關スルモノハ小會議裁判所及治安判事ノ命令ニ對スル控訴ヲ處斷スルニアリ此控訴ノ主要ナル事項ハ(一)貧民救濟ノタメ課セラレタル税金及稅率(二)道路ノ廢

止及變更(三)全郡利益ノタメニ地方ニ課セル税金是レナリ

四期會議ノ刑事職務ハ重大ナル犯罪ナルカ若クハ其法律上ノ問題特ニ複雜ニシテ開期裁判所ノ管スル者ヲ除キ夥多ノ犯罪ヲ糾彈審問スルニアリ而シテ其方法ハ開期裁判所ニ異ナラス

無形人ノ資格ヲ有スル市街ニ於テハ五年以上其業ニ從事セル狀師タルリコトだ一四期會議裁判所ヲ主宰シ又二三ノ人口夥多ナル市街ハ國皇ヨリ特ニ法律上ノ能幹アル者ヲ任命シテ有給裁判長トナスコトアリ

第三節 小會議及警視裁判所

小會議ハ二人以上ノ治安判事法律ニ依テ附與セラレタル職權ヲ行ハシカタメ集會スル者ナリ即チ通常每週一回總テノ市町及大邑ニ於テ開廷シ出席判事ノ一人議長トナリ他ノ判事ト俱ニ裁判書記ノ補助ニ

ヨリ審理ヲ行ヒ別ニ陪審官ナル者ヲ須弁ス小會議ノ事務ハ種々アリ
一部ハ司法ニ屬シ一部ハ行政ニ屬ス

司法事務ハ分テ二トス(一)即決裁判即チ些少ノ犯罪ヲ糺彈シ其終審裁
判ヲナス者ニシテ其刑ハ二ケ年ノ重禁錮及ヒ二十磅ノ罰金ニ超ユル
能ハス(二)即決裁判ニ相當スル犯罪ノ外ハ四期會議或ハ開期裁判所ノ
糺彈ヲ待ツノ間犯罪者ヲ収監スル

以上二個ノ場合ニ於テ審理ヲ始ムルハ同一様ナリ即チ最初被告ハ被
害者若シクハ警察官ノ告訴ニ由リ治安判事ヨリ出廷ノ召喚ヲ受ケ而
シテ召喚狀ヲ發スルハ此ノ如ク被害者又ハ警察官ノ告訴ニ依レテ告
訴者ハ別ニ宣誓ヲ要セス但シ召喚ヲ用弁ス直チニ令狀ヲ以テ被告ヲ
拘引スルナモ間々少カラス

被告召喚ニ應シテ出廷セス召喚ヲ適當ニ執行シタルノ宣誓アルハ

英 國 憲 法 精 理

國

皇

令狀ヲ發シテ被告ヲ拘引ス此令狀ハ之レヲ用ユル警察官ニ與フルニ
其記載セル男若クハ女ノ身体ヲ拘引逮捕スルノ權ヲ以テシ若シ之レ
チ他郡ニ執行セントスル時ハ該郡ノ行法吏其裏面ニ記名スルヲ要ス
苟モ令狀ヲ有スルハ警察官ハ必要ノ場合ニ於テ門戸ヲ破開スルノ
權ヲ有ス若シ又贓物ヲ搜索スルノ必要アルキハ特ニ場所及細目ヲ記
載スル該目的ノ令狀所謂搜索令狀ヲ得サルヘカラス若シ現行犯ニシ
テ警察官能ク犯者ヲ認知スル時ハ直ニ之レヲ逮捕シ小會議裁判所若
クハ(倫敦ノ如ク)相當裁判所ニ引渡スマテ之レヲ拘留スルノ令狀ヲ得
ルモ可ナリ被告召喚ニ應シ若クハ逮捕拘引ノ令狀ニヨリ出廷スルキ
ハ警察官若クハ其他之レヲ告訴セル者先ツ宣誓シテ其主張スル所ノ
事實ヲ陳述ス而シテ後被告若クハ其代言人ハ之レヲ反問シ更ニ新奇
ノ疑問ヲ呈供シ其答辨ニ依テ告訴人陳述ノ不實ヲ明カニシ然ラサレ

ハ其人物ノ信スヘカラサル所以ヲ論辨ス其被告方ノ証人ヲ審問シ又之レヲ反詰スルハ告訴人ト被告トノ對審ニ異ナラス而シテ被告ハ更ニ言ハント欲スル所アルヤヲ尋テ丁寧ニ其言フ所ハ後ニ至リ反テ其利益ニ反對ノ用ニ供セラル、恐アルトテ忠告ス又被告ハ時トシテ其辨護ヲ差控ユルトアリ之ヲ詳言スレハ一言ヲ述ヘス唯公平ノ裁判ニ一任スルコトアリ

証人及被告若シ被告ノ陳述スル行アレハノ言フトコロハ詳細ニ筆記シ陳述者ニ讀聞カス者ニシテ此等ノ書類ヲ總稱シテ口供ト云フ時トシテ審問ノ際盡ク之レヲ朗讀スルトアリ

判事若シ被告ヲ處分スルニ充分ノ證據ナシト認ムル時ハ更ニ證據ヲ得ンカタメ被告ヲ釋放シ或ハ事件ヲ延期スルトアリ之ヲ名ケテ被告ノ解放ト云フ即チ被告ハ該時日間獄内ニ置カル、トアリ或ハ判事ノ

見込ニヨリ保釋ヲ許サル、トアリ保釋トハ被告若シ相當ノ時ニ出廷セサルキハ本人若クハ其朋友ヨリ多額ノ金ヲ納ムヘシト約束ヲナシテ一時被告人ノ歸宅ヲ許スヲ云フ

判事若シ充分ノ證據アリ之ヲ即決シ或ハ他ノ裁判所ノ審問ヲ受ケンカタメ収監スルニ足ルト認ムルキハ前段ノ場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲナシ後段ノ場合ニハ収監狀ヲ發ス収監狀トハ四期會議又ハ開期裁判所或ハ中央刑事裁判所ノ審問ヲ受クルニ至ルマテ被告ヲ監獄ニ移スノ權ヲ相當官吏ニ與フル令狀ナリ此場合ニ於テモ被告ハ保釋ヲ以テ出獄スルヲ得

第四節 檢屍官裁判所

檢屍官ハ一郡或ハ其一部分ノ自由保有者若クハ四期會議裁判所ノ支廳所在地ニ於ケル區會ノ選舉セル司法官ニシテ終身其職ニ任シ唯若

干ノ理由ニ基キ大法官之レテ免黜スルヲ得ルノミ檢屍官裁判所ハ變死破船又ハ發見品原因ノ探究ニ任シ十二人以上ノ陪審官之レニ隸シ其中十二人ハ斷按ニ同意セサルヘカラス又謀殺ノ場合ニ於テハ開期裁判所ニ呈スル告訴狀ニハ此等陪審ノ捺印ヲ要ス

第三款 訴訟手續

第一節 刑事訴訟手續

皇 國
告訴ヲ受ケタル犯罪前章ニ陳述セル如ク小會議治安判事ノ略式裁判ニ屬スルモノニアラサルハ其審問ヲ受クル迄ノ間被告ヲ監獄ニ投シ或ハ本人若クハ親戚朋友ヨリ若干ノ金額ヲ裁判所ニ差出シ審問ノ當時ニ及ンテ出庭セサルハ其金額ヲ沒收スルノ約束ニ依テ歸宅ヲ許ス所謂保釋是レナリ而シテ審問ニ至ル迄ノ間被告ヲ收監スルト之レヲ保釋スルトハ通常犯罪ノ性質之レニ伴フ證據及犯罪ニ附屬スル刑罰ニ應シ治安判事ノ見込ニヨリ之レヲ定ム然レモ之レニ對シテ上等裁判所クんすべんち部ノ判事ニ控訴スルヲ得

審問ノ時即チ四期會議又ハ開期裁判所ノ次開期ニ至テハ被告ノ事件ヲ大陪審官ト稱スル若干員ノ紳士ニ附托ス大陪審官ハ該郡ニ居住シ

後文ニ記載スル條件ヲ具備スル者ヨリ成リ其數ハ少クモ十二人ニ下
 ラス又二十三人ニ上ラス其職務ハ全ク被告ヲ審問セサルヘカラサル
 充分ノ證據アリヤ否ヤヲ決スルニアリ若シ證據ナシト信スル時ハ被
 告ヲ開放ス所謂公訴狀ノ却下是レナリ若シ證據アリトスルキハ所謂
 本訴狀ヲ發見セルモノニシテ引續キ實際ノ審問ヲナス者トス而シテ
 此陪審官カ證據ヲ聽カンタメ退庭スルニ先テ判事ハ其事件ノ斷按ヲ
 ナスノ必要ナル證據ノ性質等ニ關シ訓示ヲナス
 已ニ審問ニ至テハ所謂普通陪審官アリテ事實ノ判決ニ任ス普通陪審
 官ハ該郡ニ居住スル者ヨリ公平ニ撰舉シ宣誓ヲナセル十二人ノ人々
 ヨリ成ル此陪審官ハ被告ノ利益トナリ若クハ其不利益トナル證據雙
 方代言人ノ辨論判事ノ解說ヲ聽キタル後全員ノ一致ヲ以テ被告ノ有
 罪無罪ヲ決スルモノトス若シ陪審官ノ斷按被告ヲ無罪ナリト決スル

時ハ之レヲ放免シ有罪ト斷定スルキハ法律上其犯罪ニ相當スル刑ヲ
 宣告ス而シテ刑ノ宣告ハ通常若干範圍内ニ限り輕重斟酌スルヲ得
 グ之レヲ定ムルハ判事ノ見込ニヨル獨リ殺人罪ノ事件ニ於テハ判事
 必ラス死刑ヲ宣告セサルヘカラス
 陪審官ノ斷按ハ衆員一致ヲ以テ決定スヘキ者ナルヲ以テ時トシテハ
 其合意ヲ求ムルタメ周夜之レヲシテ協議セシムルモ尙ホ其斷按ヲ一
 定スル能ハス遂ニ之レヲ解職スルコトアリ此場合ニハ大抵次期ノ四期
 會議又ハ開期裁判所ニ於テ復タヒ之レカ審問ヲナスモノトス今日ニ
 於テハ斷按ヲ定ムルニ唯陪審官ノ多數決三分ノ二若クハ三分ノ二以
 上ヲ以テ足レリトスル者多シ是レ現ニ蘇格蘭ニ行ハル、所ナリ
 被告其費用ヲ支辨シ得ルキハ代言人ノ補助ヲ得尤モ其辨否如何ニ拘
 ラス各被告ハ必ス代言人一人ノ辨護ヲ受クヘキ者トナスヘシトハ甚

タ切實ノ議論ナリト謂フヘシ
審問ノ手續左ノ如シ

- (一) 國皇ノ代言人即チ告訴ノ代言人、訴訟ノ性質及事實ノ概要ヲ説明スルノ陳述ヲナス
- (二) 告訴方ノ証人チ逐次呼出シ宣誓ノ後、告訴代理人之レニ訊問シ次ニ被告ノ代言人若クハ被告本人(本人若シ之レヲナストアラハ)ヨリ証人カ該證據ヲ知リタル場合及之レヲ信スル理由ヲ確カメンカタメ極メテ細密ナル疑問ヲナス而シテ判事モ亦隨時訊問ヲナスヲ得
- (三) 被告代言人若クハ被告本人其所爲ヲ辨護シ被告ノ見解ニヨリ事實ヲ陳述ス
- (四) 被告方ノ証人、公訴ノ証人ト同一様ノ手續ニヨリ訊問反問ヲ受ク
- (五) 被告代言人若クハ被告本人新ニ辨論ヲナシ證據ニ徴シテ其適當

ナリトスル斷案ヲ論定シ且ツ事件全体ノ觀察ハ被告ノ見解ニ依ラレ
ンレコチ陪審官ニ勸告ス

- (六) 公訴代言人亦之レト同一様ノコチナス
- (七) 四期會議裁判所ノ判事長、裁判完結ヲナス即チ陪審官ヲ助ケテ一切ノ證據ヲ集メ證據ノ矛盾スル者或ハ取ルニ足ラサルモノヲ指示シ
代言人ノ辨論ヲ解説シ且ツ陪審官ニ告グルニ如何ナル法律ヲ適用ス
ヘキヤヲ以テス

(八) 陪審官ハ審議ノ上、有罪若クハ無罪ト認メタル斷案ヲ呈出ス
(九) 斷案ニシテ有罪ナルトハ裁判長、宣告ヲナス

被告毫モ證據ヲ提出スルコチキレハ公訴代言人ハ其証人ノ訊問反詰
ヲ畢リタル後辨論ヲ終結シ被告若クハ其代言人ハ單ニ辨護ノ陳述ヲ
ナスノミ

第二節 民事訴訟手續及民刑混淆訴訟手續

民事裁判全体ノ順序ハ三期ヲ通過スル者ニシテ爭論ノ主點タル事項ノ性質ニ依リ從テ之レヲ管轄スル裁判所ノ資格ニ應シ或ハ單一ニシテ簡略ナル者アリ或ハ複雑ニシテ長久ニ亘ルモノアリ三期トハ(一)起訴(二)對審則チ證據ヲ聽キ事實上ノ爭點ヲ決スルト及(三)法律上ノ爭點ヲ審理シ判決スルトニシテ後ノ二項ハ常ニ明白ニ分割スヘシト雖モ實際上概テ之レヲ混淆スルヲ以テ今亦之レヲ一括シテ陳述スルヲ便トス

第一 起訴トハ訴訟人雙方ニ於テ實際ノ爭點ヲ法庭外ニテ確ムル手續ヲ云フ原告ハ法庭并ニ被告ニ訴訟ヲ提起スル要求ノ性質ヲ通告シ被告ハ之レニ對シテ答辨ノ旨趣ヲ申陳シ眞實原被兩造ノ意見相矛盾セサル事項ニ關シテ無用ノ爭論ヲナスヲ防キ且ツ眞正ニ矛盾スルモ

ノハ法律上若クハ事實上ノ問題ヲ可及的簡短ニシ以テ明白ナル裁判ヲナスニ適セシムルニアリ而シテ此手續ヲ執行スルニハ法庭ノ規則ニ依遵シ其管理ヲ受クルハ勿論ナリ

古來普通法裁判所ハ最モ重キテ訴訟ノ方式ニ置キ起訴ノ方法ハ最モ煩密ニシテ嚴正ヲ極メ民事上ノ損害ハ其類豫メ一定シ各其類ニ應スルノ訴狀アリ故ニ民事原告人ハ單純ニ事實ヲ陳ヘテ法律ノ救濟ヲ求メ法庭ハ是レニ依テ審理ヲナス者ニアラス自ラ其出訴セント欲スル事件ハ何等ノ類別ニ屬スルヤヲ定メ然ル後其類別固有ノ訴狀ニ依テ法庭ノ助ヲ請フヲ得ルノミ是ヲ以テ原告ハ現在損害ヲ受ケナカラモ若シ其訴狀ノ種類ヲ撰ムト精ナラサレハ忽チ敗訴トナリ且人事ノ煩繁錯雜ナル一定ノ種類ヲ豫定セルモ到底其範圍ニ入ルヘカラサル者ノ生スルハ理ノ然ラシムル者ナレハ至當ノ事由アリナカラ被害者其

ノ訴狀ニ定ムル者ト稍其形跡性質ヲ異ニスルカタメニ其訴權ヲ拋
キセサルヘカラサルニ至ル且ツ訴狀ノ言語ハ最モ精確ヲ極メ其論辨
ニ必要ナル者ハ片言モ漏サス無用ナル者ハ隻句モ載セサルニアラス
ンハ敗訴ヲ免レス其德義上ノ價值如何ハ措テ之レヲ問ハサルナリ然
レモ近來續々改革ノ行ハレタルヨリ斯ル形式モ漸次廢絶ニ歸セント
スルノ傾向アリ首トシテ起訴ニ必要ナル手續ハ大ニ簡略トナリ又訴
狀ヲ改正シ或ハ偶然ノ誤謬遺漏ヲ增訂スルノ便ヲ與ヘテレタリ加之
部裁判所及遺囑離婚裁判所等ノ如ク新置ノ裁判所ニ於テハ普通法及
衡平法ノ高等裁判所ニ於テ尙ホ繼續スル嚴密ナル起訴ノ手續ニ代フ
ルニ陳辨答辨反駁總テ實體ヲ主トシテ方式ヲ主トセスノ簡單ナル方
法ヲ以テシ最後ニ高等裁判所條例ハ孰レノ裁判所ニ於テモ從前採用
シタル一切ノ方法ニ代フルニ平易ノ陳述答辨及ヒ反駁ノ簡單ナル方

式ヲ以テセリ

然ルニ衡平法裁判所ノ起訴ハ普通法裁判所ニ比スレハ方式ヲ重ニス
ルト少ク其手續ノ嚴重煩密ナラサルハ夙ニ世人ノ賞賛スル所タルヲ
以テ新制ノ手續ニ於テハ曩ニ己ニ衡平法裁判所ニ於テ廣ク許シタ
ル如ク起訴ノ時ニ方リ對手ヲシテ交互ニ文書ノ疑問（稱シテ質問ト云
イシタロケリシヨシ）
フヲ爲スヲ得セシムルノ法ヲ承認採用シタリ此法ハ所謂發見ナル者
ニシテ裁判所ノ見込ヲ以テ監督スルキハ真正ノ爭點ヲ發見シ及ヒ眞
實ノ審問既ニ始マルノ後要求或ハ辨護ノ性質ニ關シテ偶然驚愕ヲ喫
セシムルヲ防キ其効益少ナカラス

第二 民事訴訟ノ普通手續ハ何レノ裁判所ニ於ケルモ既ニ記載セル
刑事訴訟ト同シク原被兩造ハ恰モ檢察官ト被告トノ位地ニアリ審理
ノ初ニ方テ原告若クハ其代言人ハ訴訟ノ理由請求ノ性質及範圍并ニ

其提出スル證據ニ係ル一般ノ性質ヲ陳述シ而シテ後原告方ノ證據ヲ呈出ス

萬國憲法精理

一千八百七十三年高等裁判所條例施行以前ハ衡平法裁判所ハ証人ノ筆記宣誓セル口供ヲ以テ證據ニ採用シ聽訟ノ時ニ先チ裁判所官吏之レヲ檢査スルニ止マルモ普通裁判所ハ總テ此種類ノ證據法律上出席スル能ハサル者或ハ重病瀕死等稀有ノ場合ヲ除ク外ノ呈供ヲ許サス實際裁判所ニ出廷シ且ツ宣誓シタル証人ノ口供ヲ採ルノミ而シテ其証人實地訴訟事件ヲ見聞シタル者ナラサルヘカラス証人自ラ出庭セズ現ニ證據ヲ呈供スル者ハ他人ノ實見シタルコトヲ取次クニ止マル者ナルキハ之レヲ傳聞^{ヒヤイヒ}ノ証人ト名ケテ一切其証言ヲ採用セサルヲ通則トス但シ^{コトヲホウシヨシ}(一)懺悔及瀕死ノ宣誓ニシテ証人ヲシテ之レヲ作ラシカ爲メ不正ノ誘引ヲ行フコトナカラシムルニ充分ナル豫防法ヲ設ケタル時又

國

皇

ハ之レアリト認定シタル時(二)家系ノ事件ニ於テ尋常ノ談話(三)唯言語ノ眞偽如何ヲ決スルヲ以テ訊問スヘキ主要ノ事項トスル場合ニ談話シタル言語等ハ此通則ノ例外ナリトス
高等裁判所條例ヲ以テ各裁判所ノ證據採用法ヲ一定ニ歸シ從前普通法裁判所及刑事裁判所ニ實行シタル方法ヲ撰ヒ公開裁判所ニ出庭セル証人ヲ訊問スルノ法ヲ撰テ一般ニ遵守スヘキ規則トセリ而シテ傳聞ヲ排斥スルノ通例ハ尙ホ舊ニ依テ之レヲ存ス
證據ハ口供ノ外、公文、公記録、拔萃裁判判決、証書、舊碑、墓銘等ヨリ成ルコトアリ蓋シ此等ノ證據ハ或ハ古物ナルカ爲メ或ハ其公ケノ性質アルカ爲メ或ハ法律ヲ以テ與ヘタル特權アルカ爲メ特別ノ價值ヲ有スルヲ以テ之レヲ傳聞ノ證據ト云フヘカラス
原告或ハ其代理人ヨリ原告方ノ各証人ヲ訊問スルノ後更ニ他ノ對手

ヨリ証人カ其陳述セル事實ヲ知リタル機會及其一般ノ信用ニ關シ之
 レヲ反詰スルヲ通例トス或ハ原告自ラ其証人ノ對手ニ對シ陳述シタ
 ル事項ニ付更ニ反詰スルヲアリ又判事ハ何レノ時ヲ問ハス相方何レ
 ノ証人ヲ論セス隨時ニ訊問スルヲ得
 口供ヲ筆記シ了リタル時ハ通常裁判所官吏之レヲ法庭ニ朗讀スルモ
 ノトス

被告毫モ證據ヲ提供セサルキハ原告若クハ其代理人ハ原告方ノ證據
 ノ結果ヲ解説シ之レヲ論結シ而シテ後被告若クハ其代理人ハ簡單ニ
 原告ノ訴訟ノ價值ナキヲ指摘スルノ辨論ヲナス
 被告ヨリ證據ヲ提供セントスルキハ本人若クハ其代理人ハ原告方ノ
 証人其證據ヲ提出セル後直チニ辨論ヲナシ答辨ノ性質并ニ自己ノ提
 出スル證據ノ結果ヲ説明シ然ル後被告人ノ証人ヲ召喚シ之レヲ訊問

シ原告人反詰ヲナシ再問ヲナスト毫モ原告方ノ証人取調ノ時ニ異ナ
 ラス次ニ被告若クハ其代理人ハ陳述ヲナシテ自己ノ利益タルヘキ証
 據ノ結果ヲ論結シ次ニ原告若クハ其代理人該訴訟全體ニ付最終ノ陳
 述ヲナス

茲ニ於テ判事ハ原被兩造ノ證據ヨリ生スル結果ヲ論結シ(若シ陪審官
 アラハ)陪審官ニ告グルニ陪審官カ一方若クハ他方ヲ是ナリトスルニ
 從ヒ其斷案ニ依テ法律上果シテ如何ナル結果ヲ生スヘキヤヲ以テス
 陪審官ハ密室ニ於テ審議シタル後其斷按ヲ提出ス斷按ニハ各陪審官
 悉ク一致セサルヘカラサルハ刑事訴訟ニ異ナラス若シ陪審官ナキハ
 ハ判事直チニ判決ヲ與ヘ或ハ更ニ熟慮センカ爲ニ之レヲ延期シ後日
 ナ期シテ宣告スルヲアリ斷按ニハ原告其訴訟ヲナス能ハスト云フ者
 アリ所謂斷按ノ被告ノ爲メニセラレタル者ナリ或ハ原告之ヲナスヲ

得ト云フ者アリ所謂斷接ノ原告ノ爲メニセラレタルモノナリ斷接原告ノ爲メニセラレタル時ハ判決ニヨリ被告ノ出スヘキ賠償又ハ損害ノ額ヲ定ム時トシテ斷案ノ特別ナルコトアリ此場合ニ於テハ斷案ハ唯事實ノ若干條件ノ證據ヲ確定シ其結果ノ原告若クハ被告ノ要求ヲ影響スルモノハ一ニ高等裁判所ノ定ムル所ニ任ス然ルニ判決(或ル裁判所ニ於テハ言渡ト云フ)ハ斷案ノ事實ノ有無ヲ定ムル者ニ異リ唯兩造ノ孰レカ正孰レカ不正ナルヲ決シ或ハ被告ノ出スヘキ賠償(若シアル時ハ)ノ金額ヲ定ムルノミナラス併セテ是ニ依テ後來取ルヘキ行爲ノ順路ヲ其關係人ニ指示シ訴訟ノ事實ヨリ發表シタル許多ノ利益ヲ保護スルコト屢ナリ敗訴人ハ相當ノ裁判費用ヲ拂ハサルヘカテサルハ一般ノ通則ナリト雖モ學理上咎ムヘキ行爲ト雖モ訴フヘキ實際ノ損害ナキヲ示ス場合

或ハ敗訴人ニシテ此訴訟ノタメ既ニ冗費ヲ被リタル時或ハ相當以上ノ裁判所ニ訴訟ヲナセル時ニ於テハ一ニ裁判官ノ見込ニヨリ此規則ヲ變更シ或ハ其適用ヲ中止ス審問ノ結果ニ至リ被告ヨリ若干金ヲ出シ或ハ其事ヲ行ヒ又ハ行フヲ止マテサルヘカテサルキハ出金セシメ行ハシメ或ハ行フヲ止マテシムルノ命令ヲ下ス之レヲ判決或ハ命令ト云フ而シテ命令ヲ強行スルニハ或ハ執行ヲ以テスルコトアリ(被告ノ財産若クハ身体ヲ執行吏ノ手ニ捕拿スルコト)或ハ裁判所ヲ蔑視セルノ故ヲ以テ被告ヲ禁獄ニ處スルコトアリ尤モ事件ノ効果被告ノ地位或ハ控訴ヲサントスル事情等ニヨリ通常ノ期限ニ關セス執行ヲ緩急斟酌スルハ判事ノ見込ニアリ行法官ハ各郡ニ在ル高位ノ一官吏ニシテ年々高等裁判所判事及樞密院議官ノ推薦セル三人ノ中ニ就キ皇帝之ヲ撰任シ一タヒ其任ヲ受ク

ルキハ之レヲ辭スルヲ得ス其職ハ裁判所判決ノ執行ヲ司リ法庭ノ令
 狀ニ從ヒ司法上ノ搜查ヲナシ陪審官ヲ召集シ且ツ通常社會ノ秩序ヲ
 保持スルヲ務ムヘキ者トス而シテ之レヲ輔佐スル者ハ下等行法官一
 人代理行法官一人及べりト稱スル屬吏トス

第四款 陪審制度

陪審制度ハ英國人民ノ最モ誇稱シテ其特別固有ノ制度トナシ或ハ之
 レヲ以テ直チニ下院ニ接シテ人民權利ノ第二堡塞ナリト謂ヒ其美風
 良制ハ各國ヲシテ之レヲ羨望摸倣セシメリ
 陪審制度ノ起源ヲ考フルニ邈焉トシテ詳ナラス蓋シ二三ノ原流ヨリ
 發生セルモノニシテ刑事ト民事トノ陪審制度ハ同一ノ起源ヨリ起レ
 ル者ニアラサルハ信ニ近シ通常陪審制度ノ起源トスル所ハ則チ(一)爭
 論ノ問題殊ニ犯罪ノ場合ニ於テハ之レヲ集合體ニ委任シ且ツ爭論ノ
 事件ハ特ニ之ヲ熟視セリト認メラレタル若干人員(往々十二人若クハ
 十二ノ若干倍數)ヲ指命シテ一般人民ニ代リ之レヲ判決セシメタル
 ことニ似クノ遺風及其基ヲ羅馬法ニ取リテのるまじ朝ノ君主カ其事件
 ノ司法ノ問題ニ係レルト否トヲ問ハス之レニ鍊熟セル若干員(概テ十

二人)ナ時ニ臨テ指命シタルいんくそと及れこぐにーよんノ制度等是レナリ

凡ソ一般ノ訴訟ニハ必ス法律ノ問題ト事實ノ問題アリ法律ノ適用ヲ定ムルハ判官ノ任ニシテ事實ノ斷案ヲ下スハ陪審ノ權ニ屬シ陪審官先ツ事實ノ有無其有罪無罪ヲ斷定シ其斷定ニ依テ判官其罪ノ輕重其權利義務ノ大小ヲ判決スル者トス苟モ人民中ヨリ撰舉シタル十二人ノ陪審官悉ク其說ヲ同フセル斷按ヲ以テスルニアラスンハ一人ノ微ト雖モ刑事ノ訴訟ニ於テ其自由生命ヲ失ヒ民事ノ訴訟ニ於テ其土地財產ヲ奪ハル、トナシ此ノ如ク丁寧反覆ノ意ヲ致ス所反テ弊害ノ依テ生スル所以ニシテ十二人ノ陪審會テ一人ノ不同意ヲ唱フル者ナキニ至テ始メテ事實ノ斷按ヲ下スヲ以テ苟モ其間ニ議論ヲ異ニスル者アルキハ空シク一室ノ内ニ閉居シテ其說ノ一定ニ至ルヲ待タシムル

カ如キ遂ニ謂フヘカラサルノ弊風ヲ馴致スルノ恐ナキニアラス此事識者ノ夙ニ憂フル所ナリ

近來司法事務ノ敏捷圓滑ヲ尊フヤ孰レノ場合ニテモ悉ク陪審官ヲ必要トナサス治安判事ノ即決ヲ得ル事件其數既ニ多ク且ツ漸ク増加セントスルノ傾向アリ又郡裁判所陪審制度ノ改正ハ其人定堡障タル一般ノ價值ヲ損スル者ノ如シ(郡裁判所ハ他ニ優所アルニモ係ラス)

民事訴訟ノ陪審官ハ普通陪審官アリ或ハ特別陪審官アリ此二者ノ異ナル所ハ他ナシ唯後者ハ一層智識アル種類ノ人民ヨリ撰擇セントスルノ旨趣ニ出テ此種ノ陪審官ハ通常訴訟ノ對手兩造共ニ之レヲ有スルヲ得

民事ト刑事トヲ問ハス對手人ノ一方ハ陪審官ヲ彈告シ陪審官ノ全体若クハ其一人若クハ其數人ノ身分ニ對シテ故障ヲ申立テ相當ノ事由

アミキハ更ニ他ニ陪審等ヲ命シテ之レニ代ラシムルコトアリ蓋シ彈告
 ニ二様アリ一ハ陪審官ノ撰舉公平ナラス或ハ任命適當ナラサルヲ主
 張スルキハ之ヲ陪審官ノ組織ニ對スルノ故障ト云ヒ又年齡丁壯ニ達
 セス或ハ一方ノ對手ニ偏黨シ或ハ曾テ犯罪ノ宣告ヲ受ケ若クハ下院
 議員ニ編入セラレタル者ナルキハ其異議ヲ稱シテ人選ニ對スルノ故
 障ト云ヘリ

刑事訴訟ニ於テハ何時ニテモ前陳ノ事由ヲ以テ故障ノ申立ヲナスヲ
 得叛逆若クハ重罪ノ審問ニ於テハ被告ハ此等ノ事由ナキモ尙ホ陪審
 官ヲ彈告スルヲ得大逆人審問ノ場合ニ於テハ通常此等豫メ規定シタ
 ル彈告ヲ許スモノ三十五ノ事由アリ然レモ君主ニ危害ヲ加ヘントセ
 ルカ如キ叛逆ノ最モ重キモノ并ニ殺人罪及其他ノ重罪ニ至テハ唯二
 十ヶ條ノ彈告ヲ許ス事由アルノミ

陪審官ニハ

- (一) 大陪審官
- (二) 普通陪審官
- (三) 特別陪審官

大陪審官ハ該郡ニ居住シテ少クモ終身土地ノ財產權ヲ有スル者則チ
 自由保有者ニ限リテ治安判事其中ヨリ之レヲ命スルヲ常トス其職務
 ハ前章ニ記載セル如ク四期會議又ハ開期裁判所ニ在テ被告ノ審問ヲ
 起スヘキヤ否ヤヲ決スルニアリ

普通陪審官及特別陪審官ハ左ノ資格ヲ有セサルヘカラス

- (一) 二十一歳以上六十歳以下ノ年齡
- (二) 年額十磅ノ價格アル土地自由保有者若クハ救民稅ヲ課セラレ
 (或ハみつゝるせつくすニ於ケルカ如ク)三十磅以上ノ家屋稅ヲ納ム

ル家屋所有者

特別陪審官ハ唯士族、銀行者、商賈ヲ以テ之レニ任シ唯民事訴訟ニ於テ
爭論ノ金額甚々大ナルモ若クハ其手續非常ニ複雑ニシテ之レヲ解ス
ルニ特別ノ教育、經驗ヲ要スルモ召集スル者ナリ

陪審ノ制度ハ英人固有ノ最重權利ニシテ隨テ一般人民ハ之レニ任ス
ルノ義務ヲ負擔シ法廷ノ召集ニ應シテ出廷セサルモハ罰金ヲ課セラ
ル但シ貴族、判事、法律ニ從事スル者、監獄官吏、國教及舊教ノ僧官、及登記
ヲ受ケタル他教寺院ノ管理者、武官、醫師、外科醫、稅關吏、及下院議員ハ此
限ニ在ラス

第七章 地方政府

第一款 概論

地方政府トハ中央政府ニ相對スル名稱ニシテ殊ニ一地方ニ限り敢テ
國家ト直接ノ關係ヲ有セサル政務ヲ取扱フ者ヲ云フ凡ソ英國臣民ノ
義務ニ二種アリ一チ國家ニ對スルノ責任トシ他チ隣保ニ對スルノ責
任トス而シテ此隣保ニ對スルノ義務ハ地方政治ノ交渉スル所ニシテ
再ヒ此責任ヲ分テ消極的及積極的ノ二者トス則チ貧民救助ノ如キハ
積極的ノ義務ニシテ救貧法ノ管理貧民兒女ノ教育癡狂、癩疾者ノ病院
等皆此種ノ負擔ニ屬シ消極的ノ義務ハ普通法ノ所謂障礙禁止ノ類ニ
テ則チ地方政府ハ隣保人民ノ飲用水ハ果シテ汚穢ナラサルヤ其呼吸
スル空氣ハ果シテ清潔ナリヤ街衢ハ果シテ正當ノ燈火ヲ供セルヤ道
路ハ果シテ充分安全堅牢ナルヤヲ檢察スルヲ職トス此ノ如ク地方政

府ノ當ニ務ムヘキ職權ハ理論上甚々明晰ニシテ其間ニ疑チ容ルヘカラサルニ似タレトモ實際ニ至テハ其應用ニ關シ頗ル議論ヲ來スコアリ今其一例ヲ舉ケンニ從來監獄ハ地方政府ノ所轄ニ屬シ郡監獄ハ裁判官市監獄ハ市會ノ管理スル所タリシカ十數年前全國ノ監獄事務ハ舉テ之レテ中央政府ニ歸シ内務大臣之レテ直轄スルコトナレリ當時論者ハ堅ク此策ヲ不可ナリトシ地方政府既ニ貧民工場ヲ建テ貧民病院ヲ設ケ其事務ヲ整理スル者トセハ監獄ノ事固ヨリ之レテ中央政府ニ委スヘキニアラスト誠ニ然リ朝夕給セサルノ貧民モ鄉黨齒セサルノ惡徒ト俱ニ逐ニ良民ノ負擔タリト雖凡ソ刑法ハ國中ヲ通シテ劃一ニ處斷セサルヘカラス然ルニ監獄ハ刑法ノ一部分ナルニ若シ之レテ獨立ノ地方政府ニ放任セハ其罪囚取扱ニ付キ全國ノ一途ニ出テントチ留ムヲ得ヘカラサルナリ以テ地方政府ノ政務モ豫メ一定ノ界線ヲ

劃シテ中央政府ノ政事ト全然判別スルヲ得サルヲ知ルヘシ抑納稅者ハ租稅ノ入額ヲ處分スルコトニ參與スヘク縱令ヒ然ラサルモ其入額ヲ處分スル者ヲ選ムヘシトハ地方政治ノ大原則ニシテ地方政務ハ概テ其地方ノ住民若クハ其代表者其任ニ當ルヲ常トシ地方自治ハ實ニ英國政治ノ骨髓タリ是ヲ以テ憲法學者ハ殊ニ重テ地方自治ニ歸シ口ヲ究メテ英國地方制度ヲ稱賛セリ顧フニ地球上星羅碁布ノ國民中獨リ英國人ノ數百年間能ク立憲ノ政治ヲ維持シ人文ノ自由ヲ保有セシハ誠ニ其地方自治ノ制度ニ職由スル者ニテ遠祖さくそん人以來生レナカラニシテ一國人民タルノ義務責任ノ如何ヲ知了シ公共ノ事務ニ熟シ逐ニ國家ノ政治ニ參與スルニ至レルハ全ク地方自治ノ精神ニ基クト謂フヘシ

地方政務ハ爾他各種ノ制度ト同シク概テ集議体ヲ以テ之ヲ取扱ヒ一

般英國政治ノ風ニ漏レス不規則ニ成長發達シタル者ナレハ英人ハ毫
 モ規矩準繩ノ整一無雜ヲ冀ハス苟モ其不整齊不規則ノ制度ニシテ運
 轉動作ノ用ヲナセハ則チ以テ足レリトナス今夫レ人民自治ハ地方政
 治ノ基本タルハ既ニ説述シタル者ノ如シト雖モ強チ此主義ヲ貫通ス
 ルヲナサス郡政府ノ如キハ集議政治ノ原則ヲ離レ其政務ヲ司ル者ハ
 地方總督ノ推薦ニ依リ國皇ノ撰任セル判事ニシテ四期裁判會ニ於テ
 郡中一般ノ使用ニ供センカタメニ(例ハ監獄ノ建築、犯罪人ノ處分及
 郡吏俸給ノ支拂等)徵收シタル租稅ヲ處分スル者アリ
 下院議員ノ撰舉ト同シク地方政務ニ關スル官吏議員ヲ撰舉スル權利
 モ土地若クハ家屋ノ占有ニ依リ普通ノ人產ヲ所有シ或ハ所得稅ヲ納
 ムル者ハ與ラス唯爰ニ注意スヘキハ國稅、地方稅ニハ大ニ差別アリ中
 央政府ハ實產ト等シク人產ニモ課稅シ地方稅ハ單ニ土地家屋ヨリ徵

收ス又下院議員ヲ撰舉スルニハ各撰舉人悉ク一樣ノ投票權ヲ有シ敢
 テ其間ニ軒輊ヲ容レスト雖モ地方政府ノ撰舉法ハ其類一ニシテ足ラ
 ス例ハ地方局撰舉ニハ複數撰舉法ヲ用井撰舉人ノ納ムル稅額ニ依
 テ一個ヨリ六個ニ至ル投票權ヲ與ヘリ又地方政府ノ撰舉、中央政府ノ
 撰舉ト異レルハ婦人ノ地位ニアリ元來婦人ハ下院議員ヲ撰舉スルノ
 權モ亦議員ニ撰ハル、ノ權モナケレモ地方政事ニ付テハ婦人モ概チ
 男子ト同一ノ參政權ヲ有シ婦女子ト雖モ水道委員、典獄、々吏、貧民監視
 者、議員撰舉取扱人等トナルヲ得但シ婦人ノ實際地方事務ニ當ルハ甚
 タ稀有ノコトニテ漸ク學校教育ニ從事スル者アルノミ
 英國地方制度ハ各地方ノ便宜ニ應シテ漸次發生シタル結果ナレハ其
 錯雜混淆殆ント名狀スヘカラス其地方稅ノ種類ハ合セテ十八種アリ
 之レヲ収支スル地方ノ官衙二万七千六十九ヶ所アリ隨テ地方ノ區劃

モ交互出入シテ甚タ概括シ難シト雖モ之レヲ寺區聯區州及區ノ別ニ依テ論述セントス

第二款 地方區劃

第一節 寺區パラスシユ

寺區トハ救貧稅賦課ノ目的ヲ以テ設ケタル區劃ニシテ區監之レヲ管轄シ境域人口ハ廣狹多少一ナラス平均二千人以上ノ人口ヲ有スル者ヲ多シトス寺區ノ行政事務ハ區會ウエズトリ及區監ヲ以テ取扱ヒ區會ハ一般納稅者ノ總集會ニシテ納稅額五十磅已下ノ人民ハ一箇ノ投票權ヲ有シ五十磅已上ハ二十五磅毎ニ投票權一箇ヲ加ヘ増シテ六箇ニ至ルヲ得寺頭シヤウ其議長タリ又貧民監督人タル區監ハ名譽職ニシテ治安判事之レヲ其區ノ家屋所有者中ヨリ任命シ救貧事務ノ外陪審官議員撰舉者及市住民名簿ヲ調成スルヲ司リ其任期ハ一ケ年トス其他寺區ニハ收稅吏區監補常置書記等有給ノ吏員ヲ置クヲ得

第二節 聯區ユニオン

聯區ハ貧民救濟ノ目的ニ基キ數寺區ヲ合シテ一聯區トナセル者ニテ
 一千八百三十四年ノ修正濟貧條例ヲ以テ新ニ之レヲ組織シ其境域ヲ
 變更シ之レヲ合併別離スルハ地方政務局ノ權ニ在リ此ノ如ク聯區ヲ
 組織スルハ先ツ熱鬧ノ市場ヲ中心トシ四隣ノ寺區ヲ集メテ一區トシ
 其數寺區ノ人民ヲ中央市場ニ會集セシムルキハ保長及區吏ノ執務ヲ
 助クルヲ多キカ故ニテ始メテ聯區ヲ組織スルキニハ其境域甚タ狹隘
 ナルモ事務ノ整頓スルニ及ンテ次第ニ之ヲ擴張シタル所多ク隨テ其
 區域ノ大小一ナラス犬牙錯綜其他ノ區劃ト横切交斷スル極メテ多シ
 凡ソ英國地方制度中毫モ横斷セサル區劃ヲ求メント欲セハ唯聯區ト
 寺區トアルノミ何トナレハ聯區ハ寺區ヲ合セタル者ニテ寺區ハ聯區
 ノ一部ナレハナリ
 聯區ノ事務ハ保長局之レヲ司リ保長ハ地方政務局ノ定ムル資格但シ

其納稅額制限ハ四十磅ニ越ユヘカラスヲ有スル者ノ中ヨリ區内ノ財
 產所有者及納稅者之レヲ撰舉シ其投票ノ數ハ納稅額每五十磅ニ一箇
 ナ加ヘ増シテ六個ニ至ルヲ得ル者トス保長ノ數ハ定員ナク在職三ヶ
 年ニシテ州裁判官ト俱ニ保長局ヲ組成シ其下ニ書記會計救貧掛戶籍
 掛等アリテ地方政務局ノ監督ニ屬シ細大ノ事務概テ其命令ニ成リ又
 其派遣スル地方會計検査官ハ寺區及聯區ノ會計ヲ検査シ不法ノ支拂
 ナ禁制修改スルノ權アリ地方官其處分ニ服セサルキハ控訴スルヲ許
 セ凡訴訟ノ勝敗ニ拘ハラス其入費ハ一切地方ノ負擔ニ歸スル者トス

第三節

カウンティ
洲

英蘭ヲ分テ四十州威爾斯ヲ分テ六州トシ其中別ニ市ノ州又ハ邑ノ州
 ト稱スル者十八箇アリテ州ト同一ノ組織ニ成ル又國會議員撰舉ノ爲
 ノニ州ヲ分テ支州トナスコトアリ

洲ノ事務ヲ分テ王國一般ノ事務及地方特別ノ事務トス則チ國家ノ治安民兵裁判官ノ地方行政及議員撰舉ノ如キハ一般事務ニシテ州有橋梁道路州會場警察貧民寄留所營業特許家畜傳染病豫防度量衡及下級地方廳ノ監督等ハ地方事務ナリ此等ノ事務ヲ處理スルニ左ノ職員ヲ以テス

總督ゴットフレタナントハ地方ノ豪族貴族中ヨリ勅撰シ陸軍軍事上國皇ノ代官ニシテ洲民兵ノ指揮官タル名義ヲ有シ洲裁判所ノ裁判長ニシテ治安判事ヲ推薦シ治安書記ヲ任命スルノ權アリ

行政セリフ吏ハ法律執行ヲ司ル國皇ノ代官ニシテ國皇ニ代リ陪審官ヲ召集シ上級裁判廳ノ宣告命令ヲ執行シ洲ノ撰舉事務ヲ總ヘ其報告ヲナス此官古昔ハ洲民ノ公撰ニ成リ頗ル威權アリシカ近來ハ每年高等裁判所判事ノ推薦スル土地所有ノ洲民三人ノ内ヨリ任命スル名

譽職トナリ濫リニ其職ヲ辭スル者ハ罰金ノ處分ヲ受ケ

檢察官コルチルハ變死牢死者ノ檢視ヲ司リ一名若クハ數名其州ノ土地自由保有者ヨリ撰舉スル有給官吏ナリ

治安裁判官ハ一ケ年百磅ノ收入アル土地所有者三百磅ノ收入ノ土地攝有者若クハ二ケ年間現住家屋稅百磅ヲ納ムル者ヨリ都督之レヲ推薦ス終身ニシテ其數定員ナク各分テ州ノ一部ヲ管轄シ二名以上列席ノ上小裁判會ヲ開キ各判事列席ノ上一州ノ總會タル四季裁判會ヲ催ス者トス其職權ハ司法及行政ニ兩屬シ就中最モ緊要ナル者ヲ警察權トシ四季裁判會ハ警部長ヲ囑任シ警察官ノ人員ヲ定メ警察費ヲ徵收シ其他行政上ノ監督ハ皆治安判事ノ掌ル者ナリ

其他ノ職員ハ治安書記會計官及監查官等ナリ

州費ハ州稅ヲ以テ支辨シ其決算簿ハ公衆ノ閱覽ニ供シ又之レヲ地方

政務局及聯區保長ニ送附ス凡ソ州税ノ賦課ハ治安裁判官ノ掌ル所ニシテ其方法ハ直ニ各人ノ財産額ニ課スル者ニアラス先ツ之レテ州内各寺區ニ若干ヲ課スル者トシ州裁判會課税委員ハ各寺區ノ課税財産ノ惣額ヲ調査シ其多寡ニ應シテ負擔額ヲ定メ徵収命令書ヲ編成シテ聯區保長ニ送附シ保長ハ其金額ヲ州會計官ニ納メ更ニ寺區々監ニ令シテ其寺区内ヨリ教會費ヲ徵収シテ之レヲ支拂ハシム

第四節 區キウ

區ハ一千八百三十五年ノ市邑團結條例ニ依リテ團結シタル自治体ニシテ遠クさくそん時代ニ溯レハ地方ノ豪族一方ニ割據スル者其近傍ノ人民ヲ集メテ自由市邑ヲ組成シ中央政府ノ干涉ヲ仰カス自治團結ヲ設ケタルヲアリ爾來市邑ノ特權ヲ得ント欲スル者ハ此請願ニヨリ國皇ヨリ特許狀ヲ下付シ租税ヲ定メ租税ヲ賦課シ市長及其他ノ職員

ヲ撰舉シ行法吏ノ区内ニ關スル規判ニ干涉スルヲ拒絕スルノ權利ヲ得尋テ區民ノ代表者ヲ議院ニ派出スルニ至リ市區ノ内其力微弱ナル者ハ國皇若クハ貴族ノ保護ニ依テ自立ノ計ヲナストナリ市區ハ不正撰舉ノ淵叢ト變シ大ニ代議制度ノ發達ヲ妨害セシテ以テ一千八百三十二年ノ撰舉法改正案ヲ以テ市區ノ區劃ヲ更革シタレモ餘弊未タ除去セス市區ノ實權概テ少數有力者ノ專占ニ歸シ多數ノ人民ハ共有特權ノ利益ヲ受クル能ハス且ツ賄賂公行シテ市會ニ列ル者ハ豪富巨商ニ限リ此等ノ人々ハ改撰ノ期ニ至ルモ依然其職ヲ退カス獨リ市區ノ特權ヲ使用セリ是ニ於テ政府ハ一大英斷ヲ以テ悉ク從前ノ特權ヲ剝奪シテ新制度ヲ布キ地方政務ノ改良ヲ計レリ

區ハ區長、長老及區民ノ代表者タル參事員ヲ以テ構成スル自治体ニテ之レヲ管理ス蓋シ區民ハハシストハ府内ニ家屋ヲ占有シ府外七英里以内ニ居

住シテ救貧税及府税ヲ納ムル者ヲ云ヒ凡ソ此等ノ區民ハ區會參事員ノ撰舉權被撰舉權ヲ有シ區長及長老ハ參事員又ハ參事員ノ資格ヲ有スル者ノ中ヨリ撰舉シ區長ノ任期ハ一年長老ハ六年參事員ハ三年トス其他區會ニハ區書記アリテ市政ニ關スル記録帳簿ヲ監督シ區會議員ヲ召集シ開會中議事ヲ筆記シ又會計官アリテ市邑一切ノ金錢収支ヲ掌ル

區會ハ行政及立法ノ權ヲ有シ其制定シタル法律ハ中央政府ノ條例ト等シク市住民之レヲ遵奉セサルヘカラス但シ區條例ヲ以テ處分スル罰金ハ五磅ニ越ユヘカラス區會ハ毎年四回通常會ヲ開キ若シ其決議ヲ要スル事件ヲ生スルキハ區長臨時會ヲ開クノ權アリ又五名己上ノ賛成アルキハ區長ノ意見ニ拘ハラヌ區會自ラ開會スルヲ得

區會ノ通常行政事務ハ共有財産ノ管理燈火及警察ノ設置市場及埋葬

地ノ整理地方税ノ賦課及公債募集等ヲ始メ議院ノ制定セル衛生上ノ諸規則ヲ執行シ及學務局ノ設ナキ地方ニ小學令(一千八百七十六年)ヲ強行スル等はレナリ

區費ハ區共有財産ヨリ生スル借地料及潤益ヲ以テ成ル區資金ヨリ支出シ其不足ヲ補充スルニハ區税ヲ以テス此區税ハ救貧税賦課ノ爲メニ調査シタル區住民ノ財産額ニ照ラシ各寺區々監之レヲ徴収ス又警察費ハ別途ノ課税トシ尙ホ警察ノ不行届ナル場合ニハ大藏省之レニ補助費ヲ下付スルヲアリ

各市邑ハ必須ノ事業ヲ起サントスレハ租税其負擔ニ耐ヘサルキハ區會多數ノ賛成ト納税人集會ノ同意ヲ得中央政府ノ認可ヲ經テ負債ヲ募集シ其資本ニ充ツルノ權アリ此種ノ負債ハ若干年期間ニ年賦ヲ以テ返償スルノ約ヲ立テ毎年地方税ヨリ其元利年賦金ヲ支拂フ者トス

已ニ述ヘタル如ク一般地方ノ會計事務ハ地方政務局嚴密ニ検査チナ
 スモ區ハ財政上ニ於テモ自主ノ原則ニ依リ其會計ヲ検査スル者モ市
 邑中ニテ撰定セル官吏ヲ以テシ其内二人ハ直接ニ市民ノ撰擧ニ係リ
 他ノ一人ハ區長區參事員中ヨリ指名シ每年期ニ區會計官會計ノ決算
 チナシ其後一ヶ月内ニ検査官ノ検査ヲ受ケ每歲第一次ノ検査後區書
 記該年度ノ金錢支収ヲ調査シ之レヲ地方政務局ニ報告ス地方政務局
 ハ全國市府ノ會計報告ヲ集メ其概要ヲ下院ニ送付シテ其檢閲ニ供ス

第二款 地方政治

第一節 概論

地方自治ハ英國固有ノ制度ニシテ地方分權ハ自由政治ノ精神ナリ是
 故ニ中央政府ハ專ラ非干涉ヲ主義トシ地方ノ政務ハ地方ノ便宜ニ任
 スルヲ主トシ且ツ近世經濟學者ノ任他主義ヲ主唱スルマ遂ニ其說ヲ
 引テ政治上ニ及ホシ百般ノ政務ヲ舉テ一ニ放任ノ針路ニ向ケントセ
 リ然レモ經濟ノ事ハ物質的ノ進歩ヲ大主眼トスルヲ以テ若シ政治ノ
 目的モ亦斯實體的ノ福利ヲ進ムル者ニ止マルトセハ天下最上ノ政略
 ハ斯經濟致富ノ念ヲ提擧シテ毫モ之レヲ拘束セス全ク人民ノ競争ニ
 任スルニ在ルヘシサレモ政治ニシテ苟モ人民物質上ノ福利ヲ進捗ス
 ルニ止マラス則チ衛生道德學問等ノ如キ金錢財用ニ關セサル事項ヲ
 モ司ル者トセハ此任地主義モ濫リニ萬般ノ政治ニ適用スルヲ得ヘカ

ラス

第十六七世紀ノ頃人民ノ情況今日ノ如クナラス政府ハ道德教育風俗ニ關シ專ラ干涉ノ政略ヲ取り人民ヲ壓制スルヲ妙カテサルヨリ大ニ反動ノ勢ヲ生シ政府ノ本分ハ警察ノ一事ニ止マリ非行ヲ禁遏シ人權ヲ防衛スレハ政府ノ責任爰ニ終ヘリトノ説盛ニ行ハレ放任自由ノ政治ヲ稱道スル者多カリシカニタビ反動力ヲ興起シ地方政務中是レマテ各地ノ自治ニ任セシ者ヲモ近來ハ中央政府ニテ管轄セントスルノ傾向ヲ見ルニ至レリ然レハ概今政治ノ主義ハ政府ニ專權ヲ委テ其意見ヲ以テ直接ニ地方政務ヲ取扱ハントスルニハアラテ一般ニ適用スル條例法律ヲ以テ地方政務ヲ整理セントスルニ在リ語ヲ更ヘテ云ヘハ干涉ヲ廢シテ監督ヲ行ハントスルニ在リ是故ニ政府ハ近來商務局ヲ設ケテ商業貿易ノ事ヲ監督シ教育委員ヲ置キテ全國ノ教育ヲ整理

英 國 憲 法 精 理

國

皇

シ且ツ一千八百七十一年ニ地方政務局ヲ設ケテ從來濟貧局ノ掌レル教育事務樞密院ノ擔任セル種痘及流行病豫防事務及內務省ノ管理セル衛生事務ヲ一局ニ合セ之レニ與フルニ地方廳ニ訓令ヲ下タシ地方廳ノ行政及財計ヲ監督スルノ權ヲ以テヒリ是レヨリ地方政務局ハ各地方ノ統計ヲ蒐集シテ報告書ヲ作り貧民教育ニ付キ精細ノ監督ヲナシ聯區ヲ合併分離シ保長ヲ指揮スル等些細ノ事務ト雖モ敢テ忽ニセズ尙ホ地方ノ財政ヲ監督スルタメニハ地方負債ノ募集ハ必ラス先ツ其許可ヲ要シ州區ノ外ハ各地方區劃ノ會計ヲ檢査シ地方稅地方費及地方負債ニ關スル詳細ノ報告ヲ毎年議員ニ提出スル等其地方政務ヲ監督スルヲ甚タ少ナカラス

左ニ地方政事ノ重要ナル者ヲ論述シ其中央政府トノ交渉ヲ明カニセントス

第二節 救貧事務

幼弱老衰、禍災、疾病等ニテ自ラ養護スル能ハサル窮民ハ地方ノ公費ヲ以テ之レヲ救育スヘキ者トス然シテ各聯區ハ重ニ此窮民救育ノ目的ヲ以テナセル區劃ニシテ自身若クハ其父母其聯區内ニ住シ若クハ確定ノ方法ニ依テ住籍ヲ得タル者例ヘハ十磅已上ノ借家料ヲ拂ヒ四十五日間其地ニ居住シ救貧稅ヲ納ムルカ如シハ其聯區ニ於テ之レヲ救養スルノ義務アリ但シ他聯區ノ住民ニテモ其本籍地ニ轉スル能ハサル者ハ現在地ニテ之レヲ養護セサルヘカラス

貧民救育ニ二様アリ一ハ貧民工場ヲ設ケ無告ノ窮民ニ相當ノ勞働ヲナサシムルノ方法ヲ準備スルニ在リ各聯區ニハ如此工場チ一二ヶ所建立シ地方政務局ノ制定セル規則ニ準據シ聯區又ハ寺區ノ保長之レヲ管理シ地方政務局ハ保長ノ同意ヲ得テ工場ヲ新置シ保長若シ之レ

ニ同意セサルキハ職權ヲ以テ之レヲ擴張シ或ハ之レヲ改築シ且ツ工場建立ノタメ保長ニ命シテ寺區ノ公債ヲ起サシムルヲ得

一ハ場外救育ニシテ現金物品ヲ給シ醫藥ヲ與ヘ子女ノ教育ヲ補助シ土地ヲ分與シ移住ノ獎勵ヲナス等專ラ地方政務局ノ成規ニ依遵シテ之レヲ行フ者トス

救貧稅ハ寺區内ノ土地、家屋及鑛山ノ純價格ニ賦課シ均一ニ之レヲ徵収ス其方法ハ區監先ツ課稅財產價格表ヲ作り之レニ相比例シテ全費額ヲ割付シ其表ヲ治安裁判官ニ呈出シ其許可ヲ得テ始メテ救貧稅トナシ之レヲ納稅者ニ告知シ其支拂ヲ要求ス但シ皇室及政府ノ所有地ハ課稅ノ限ニアラス其代リニ中央政府ハ毎年若干ノ補助費(一千八百八十二年十六万五千磅)ヲ議院ノ決議ヲ經テ支出ス

第三節 衛生事務

衛生事務ヲ取扱フタメニ全國ヲ都府衛生區及鄉村衛生區ニ大別シ各市各地方局區若クハ各改良條例區改正條例區ハ地方政治ノ模範ヲ示スノ目的ヲ以テ設立セル者ナリ)テ都府衛生區トシ鄉村衛生區ハ都府衛生區以外ノ村邑ヲ總稱ス都府衛生事務ハ區會地方局若クハ改良事務官之レヲ掌リ鄉村衛生事務ハ保長局之レニ任シ兩者共ニ清水ノ供給溝渠疏水障礙物ノ排除病院墓地ノ設置及傳染物ノ豫防等專ラ公共ノ健康ヲ維持スルノ事務ヲ擔任シ特ニ都府衛生區ニ於テハ都府ノ改良燈火市街道路ノ修繕商業貸馬車及火災ノ規則等純然衛生ニ關セサル事項ヲモ合セテ之レヲ管理ス

都府衛生費ハ救貧稅賦課ノタメニ調査シタル財産表ニ應シテ徵收シタル通常區稅ヨリ之レヲ支出シ鄉村衛生費ハ聯區資金救貧稅ヨリ成立ツヨリ支拂フ者トス

第四節 教育事務

教育事務ヲ取扱フタメニ全國ヲ學校區ニ分チ各學校區ニ委員會ヲ設ケ樞密院教育部之レヲ總括ス委員會ハ普通教育ヲ布クノ目的ヲ以テ不就學子女ノ父母ニ罰金ヲ課シ又教育部ハ土地ノ情況ニ應シ相當ノ學校ヲ各地方ニ建設ス凡ソ教育ニ關スル一切ノ費用ハ授業料議院ノ補助費負債及學校費ヲ以テ支辨スル者ナリ

第五節 道路事務

全國ノ道路ヲ管理スルタメニ道路區劃ヲ設ケ其重要ナル者三アリ云ク國道寺區國道區及都府衛生區是レナリ就中第一第二ハ鄉村ノ道路ニシテ第三ハ都府道路ノ劃區ナリ

國道寺區トハ國道區若クハ都府衛生區ニ入ラス自ラ道路ヲ管理スル村邑ニシテ普通法上道路修繕ノ義務ハ寺區住民ノ責任ニシテ一千

八百七十五年ノ條例ヲ以テ國道費ヲ負擔スル人民中ヨリ監査官ヲ撰任シ寺區内道路ノ維持及修繕ヲ司ラシメ其費用ハ救貧稅ヲ賦課スヘキ財産價格ニ應シテ監査官ノ徵收セル國道稅ヲ以テ支辨ス

國道區ノ事務ハ區内ニ任スル判事及數寺區ヨリ撰任セル道路保護人ヨリ成立テル國道局ト名クル委員會ニテ管理シ其費用ハ區ノ通常資金ヨリ支出ス

都府衛生區ニ於テハ衛生委員併セテ道路ヲ管理ス

第六節 警察事務

昔時ハ治安ヲ保雄シ非行ヲ禁遏スルノ義務ヲ以テ全國人民ノ等シク負擔スルモノトセシカハ人皆常職アリ恒ニ監視ヲナス能ハサルノ故ヲ以テ各寺區ノ人民ハ一人ヲ撰舉シテ寺區警察官トナシ該寺區ノ事務ヲ主宰セシメ更ニ之レニ附スルニ四人ノ屬吏ヲ以テシ警察官若シ

呼聲ヲナストハ寺區内ノ人民ハ皆犯罪人ノ捕拿ニ助力セサルヘカラサル者トセリ爾來物移リ星變リ人口増殖スルニ及ンテ制度ヲ更新シ漸次警察官ノ民撰ヲ廢シ保安ノ職ハ有給官吏ノ手ニ歸シ其專任スル所トナレリ而シテ各人皆保安ニ助力セサルヘカラストノ舊說ハ尙ホ全ク地ニ委セス其痕跡ノ最モ強キモノハ非常警察官ノ誓約及現今將ニ廢絶セントスル寺區警察官ノ制度ノ中ニ存シ此等ノ警察官ハ毫モ俸給ヲ求ムルヲ得ス(縱令寺區會ニ於テ其報酬ヲ定ムルコトアリト雖モ)且ツ特ニ其義務ヲ免セラレタル者ニアラスシテ就職ヲ嫌忌シ若クハ代任者ヲ出サ、ル時ハ罰金ヲ科ス而シテ其警察官タルヲ要セサル者

ハ(一)兩院ノ議員(二)狀師(三)僧侶(四)學校長(五)醫師(六)文官(七)陸海軍ノ官吏及軍事ニ從事スル者等ニシテ警察官タルノ資格ヲ有セサル者ハ總テ破廉耻罪ヲ犯セル者國稅ヲ科スヘキ飲料及麥酒ノ販賣者特許食

品商野獸看守者ナリ現今ニ於テハ四期裁判會ノ特命ノ外、寺區警察官
ヲ任命スルコトナシ
警察官ノ權利義務ヲ分テ二トス(一)刑法ヲ執行スルコト(二)他ノ法律ニ從
テ職權ヲ行フコト是レナリ

(第一) 警察官ハ令狀ヲ用非スシテ(一)議院ノ條例ニ依テ定レル治安妨
害者(二)面前ニ治安妨害ヲ行ヒシ者(三)治害妨害ヲナサントスル者(四)正
當ニ重罪犯ト認メタル者ヲ捕拿シ又何人ト雖モ治安判事ノ令狀ニ依
テ之レヲ逮捕スルヲ得又令狀ヲ執行シ若クハ重罪犯ト認メタル者ヲ
捕拿スルニ方テハ門戸ヲ破壊シ或ハ已ムヲ得スンハ之レヲ殺傷スル
ノ權アリモシ警察官或ハ其屬吏ニシテ斯ル捕拿ヲナスニ方リ殺傷セ
ラルレハ之レヲ問フニ殺人罪ヲ以テス逮拿ヲナシ或ハ治安ヲ保維ス
ルニ方リ警察官ノ補助ヲナスヲ欲セサル者ハ罪アリ警察官ハ判事ノ

令狀ヲ執行シテナセル行爲ニ對シテ告訴ヲ受クルコトナク又六ヶ月ノ
後ニ至リ其職務執行ノ間ニナセル所爲ニ關シ告訴セラル、コトナシ
(第一) 議院ノ條例ニヨリ警察官ノナスヘキ職務多シ其一二ヲ舉グレ
ハ左ノ如シ

- (一) 酒類販賣店、定時ノ閉店ヲ監督スル事
- (二) 賭場ニツキ同上ノコト
- (三) 龍動街、衢雜闕中ノ治安ヲ保維スルコト并ニ通常龍動市街、商賣ノ
整理ヲ補助スルコト
- (四) 宣言或ハ大公式ニ際シ都府市街ノ秩序ヲ保持スルコト
- (五) 公園及遊地ノ使用ヲ規定スル細則ヲ執行スルコト

特別警察官ハ其就職間有スル所ノ權力、職務及特權ハ普通警察官ニ異
ナラスト雖モ其任命ヲ受クル時別ニ明文ヲ以テ之レヲ定メタルモノ

ハ此限ニアラス
 人口稠密ノ地ニ於テハ特ニ智識教育ノ優等ナル若干ノ警察官ヲ撰任
 シ特ニ嫌疑者ヲ追跡シ又ハ未知ノ犯罪者ヲ發見スル等ノ事務ヲ執ラ
 シム此種ノ警察官ハ平服ヲ裝ヒ其俸給他ニ比スレハ多額ナリ之レヲ
 探ケテ探偵吏ト云フ
 全國ノ警察權ヲ分テ左ノ各部トス

- 一 區部警察官
- 二 郡部警察官
- 三 龍動警察官
- 四 龍動府警察官
- 五 寺區警察官
- 六 特別警察官

一 區部警察官ハ區ノ人口八百人ニ付キ一人ノ割合ナリ
 二 郡部警察官ハ區ヲ除キ郡ノ人口一千三百四十八人ニツキ一人ノ
 割合ナリ
 三 都府警察官ハ(造船廠ニ從事スル六百四十四人ヲ除キ)都府警察官
 ノ人口四百二十人毎ニ一人ノ割合ナリ
 四 龍動府警察官ハ該府日中ノ人口三百四十九人ニ一人ノ割合ナリ
 (該府日中ノ人口中ニ就キ府外ニ宿泊スルモノ頗ル多ク夜間ニ於テハ
 人口百六人ニ警察官一人ノ割合ナリ)
 每歲警察權ヲ維持スル經費ノ平均高ハ

- 一 區部警察 五十四萬磅
- 二 郡部警察 七十七萬磅
- 三 都府警察 八十八萬磅

四倫敦府警察

六萬五千磅

合計

二百二十五萬五千磅

此經費ハ衣服裝飾俸給手當退老金廳費及一切ノ臨時經費ヲ包含ス

第一 各區ノ區部警察官ハ

一 警察官長

二 警部

三 警察官

(區會之レテ任命ス)

四 監察官(政府ノ任命ニ係ル)

經費ノ一部ハ區稅ヲ以テ之レテ支拂ヒ一部ハ政府ヨリ之レテ補助シ
人口五千以上ノ區ニテ警察事務整頓セリト認ムルキハ費額四分ノ一
ヲ國庫ヨリ支給ス

第二 各郡及議院ノ定メタル郡ノ各部分ニ於ケル郡部警察官ハ

一 警察官長(Four Constables)(四期裁判會判事ノ任命ニ係ル)一人若シ郡ヲ兩分シ每

部共ニ議員ヲ出ス場合ニハ警察官長二人

二 監督

三 警部

四 警察官

(警察官長ノ任命ニ係ル)

五 警察官(政府ノ任命ニ係ル)

此經費モ特別郡稅ヨリ支拂ヒ政府之レテ補助スル者トス

郡ト區トノ警察ハ之レテ合併スルコトアリ此場合ニ於テハ郡部警察官
長最上權ヲ握リ區部警察ニ屬スルモノヲ解任スルヲ得然レモ缺員ヲ
補充スルハ監督委員ノ手ヲ藉テサルヘカラス若シ合併ノ行ハレサル
時ハ場合ニヨリ合併ヲ強ユルノ請願ヲ內務大臣ニナスヲ得
警察ニ屬スル者ハ其在職ノ長短ニ應シテ退老金、年金、寡婦救助金等ヲ

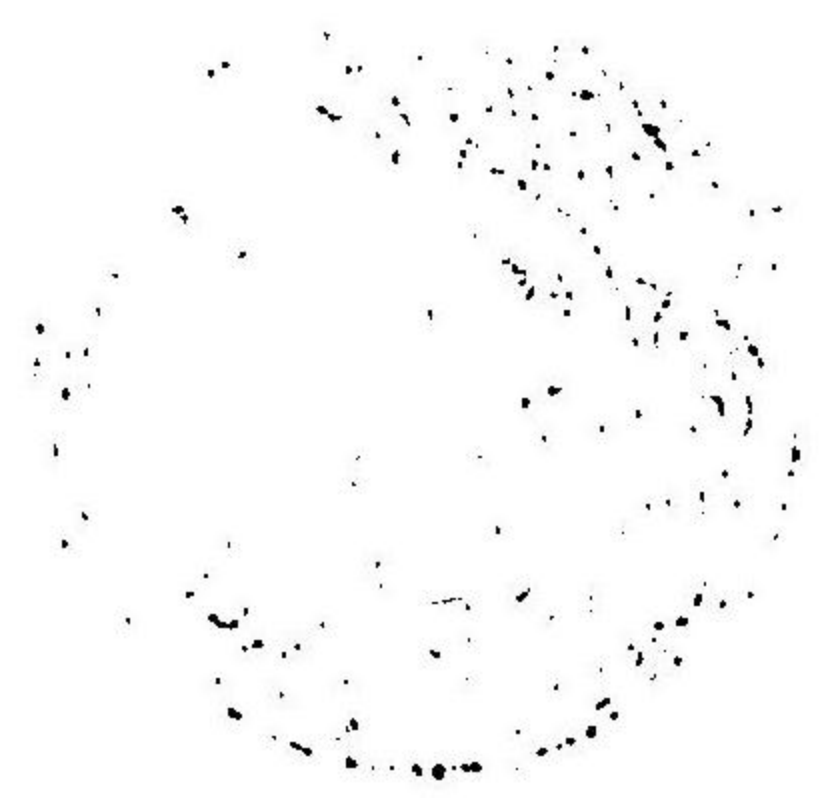
受ク而シテ此等ノ資金ハ此目的ヲ以テ俸給手當ノ中ヨリ殘シ置キタル者及司法上ノ罰金ヨリ成ルモノトス

第三 都府警察官ハ

- 一 總官一人
- 二 副總官一人
- 三 六面監督四人
- 四 監督
- 五 監察官
- 六 警部
- 七 警察官

(内務大臣若クハ其属官ノ任命ニ係ル)

版權登錄



明治二十二年一月三十一日印刷
同二十二年二月四日出版

定價金

著述人

東京府士族

天野爲之

東京麴町區堤三番町二十九番地

著述人

岡山縣平民

石原健三

東京本郷森川町十七番地寄留

發行者

東京府士族

小野英之助

北豐島郡地方橋場町千三百八十番地

發兌元

富山房書

東京神田區裏神保町九番地



印刷者

中尾默次

東京京橋區山下町二十二番地



所

捌

京都 同 名古屋 熊本 越後 同 仙臺 同 鹿兒島 趣中 信州

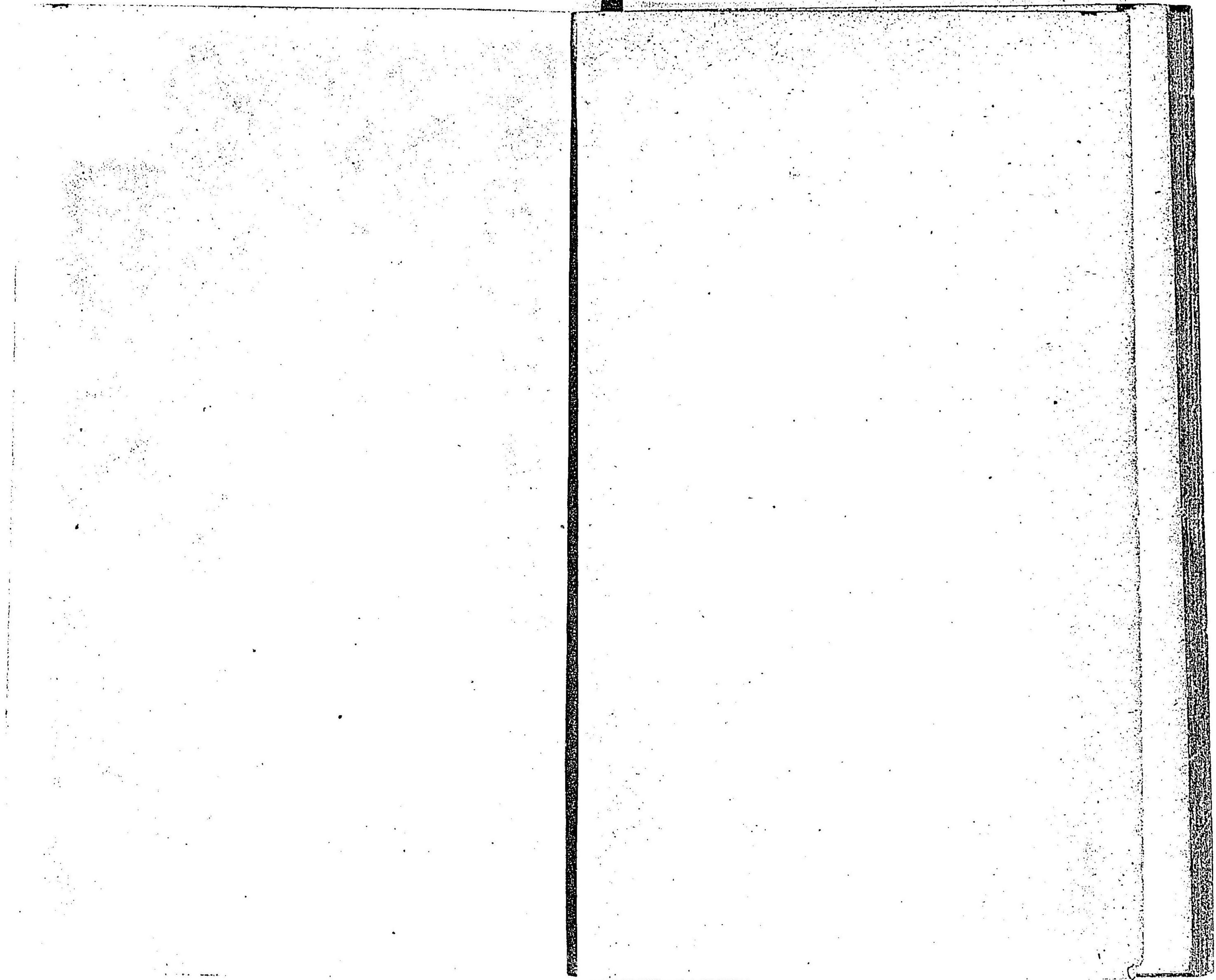
大黒屋出店 田中治兵衛 川瀬代助 長崎次郎 目黒十郎 西村六平 高藤書店 伊勢安 吉田幸平 中田書店 奥田書店

賣

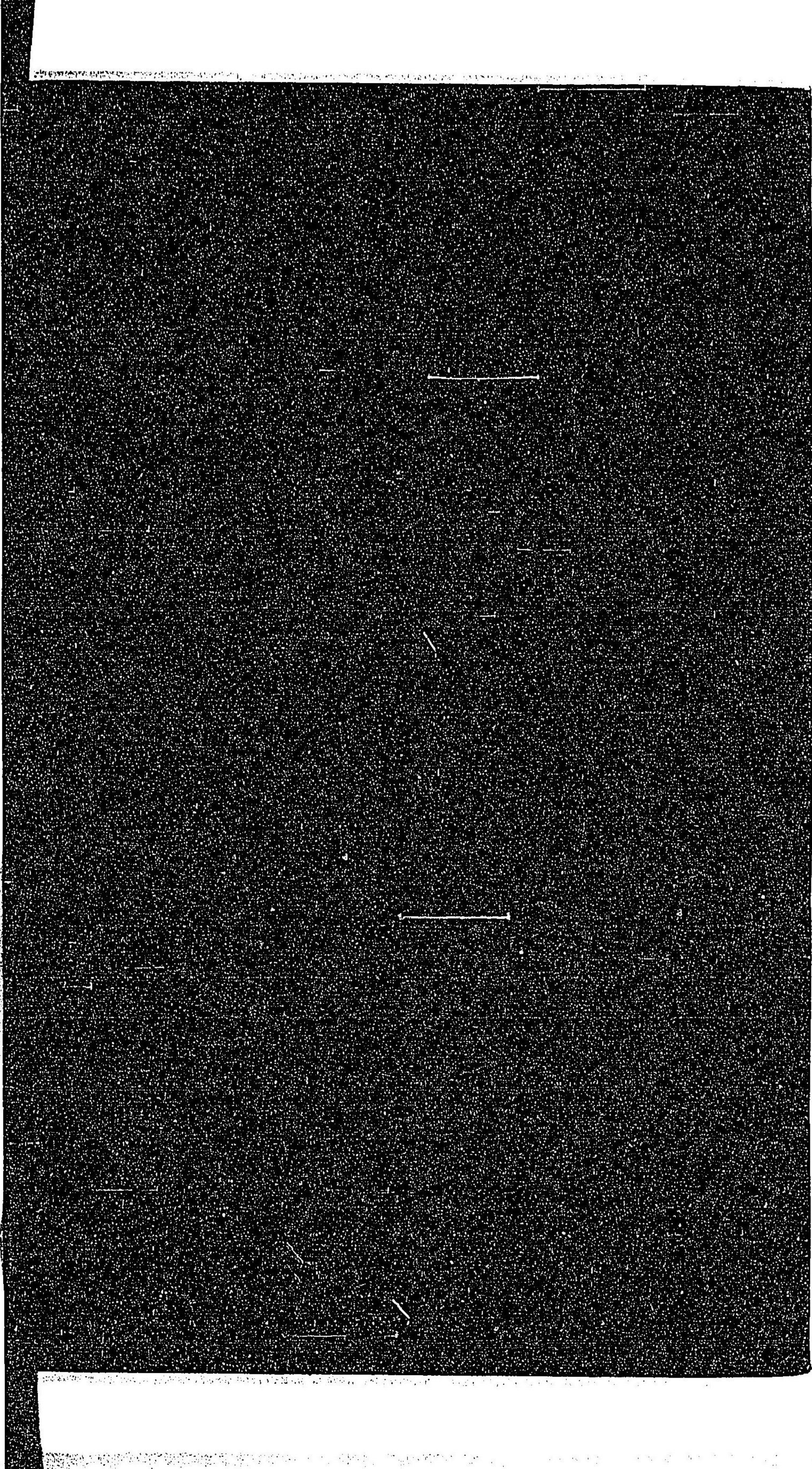
大

東京 同 同 同 同 大坂 同 同 同 同 同

九善商社 博聞社 集成社 大倉孫兵衛 共益商社 佐藤乙三郎 三木佐助 梅原龜七 岡島眞七 柳原喜兵衛 吉岡平助



| |
|-----|
| 17 |
| 4 |
| 144 |



17
144

031437-000-8

17-144

英国宪法精理

天野 为之

石原 健三 / 著

M22

BBE-0029

